

>>> 留学へのステップ

本冊子P.23～P.28参照

出発



出発準備・出発

留学の3～1ヶ月前

留学先大学から
入学許可証到着



所属学部・研究科
にて留学手続

留学先大学から
入学許可証到着

※学生に直接届いた場
合はコピーを国際教
育センターへ提出

5～7月頃
前年12月～1月頃

留学の約10～5ヶ月前

出願準備・出願

※大学により出願書類・
出願締切が異なります。

出願書類一例

成績証明書、卒業証明書、
健康診断書、財政能力証明
書、推薦状、エッセイ等々

〈学内選考合格〉

出願準備

※国際教育センターを通じて手続
〈協定校留学の場合〉

- ☐ 所定の申請書
- ☐ 成績表
- ☐ 推薦状
- ☐ 学習計画書
- ☐ 宿舍申込書

等々・・・

留学先大学へ推薦
(= 出願)

1～4月頃
前年11～12月頃

留学の約1年前

TOEFL®等受験・
スコア取得・願書請求



協定校留学学内選考応募期間
(本冊子P.19～P.20参照)

●募集時期

【英・仏・中・独・伊・ロシア・その他】
10～11月頃
(出発は翌年8～9月。
*独イエナ大学のみ4月発もあり)

【英(オーストラリア)・韓】
5～6月頃
(出発は翌年2～3月頃)

協定校留学
学内選考

協定校留学学内選考募集

前年12月上～中旬頃
前年7月頃

前年10～11月下旬頃
前年5～6月下旬頃

例えば、協定校留学で3年生の8月あるいは
9月から出発する場合、学内選考は前年の
10～11月頃に行われますので、それまで
に語学能力を備えている必要があります。

留学の1年半以上前

留学の目的を
明確化しよう!



あなたの留学目的は明確ですか?以下のチェックリスト
を利用して自分なりの留学計画を作り上げてください。

- ☐ なぜ今留学をする必要があるのですか?
- ☐ どんな形態(協定校・認定校・語学留学 等々)
で留学をしたいですか?
- ☐ どこ(国・地域・学校)に留学をしますか?
- ☐ いつ留学をしますか?
- ☐ 留学先で何を勉強するのか決まっていますか?
- ☐ 出願締切には間に合いますか?
- ☐ 必要な語学力は足りていますか?
- ☐ 家族の理解・同意は得ていますか?
- ☐ 指導教授等に留学の相談をしていますか?
- ☐ 留学経験を、どのように将来に活かすことが
できますか?
- ☐ 留学後就職活動をする人は、留学時期との兼
ね合いについて具体的に考えていますか?
- ☐ 留学後、進学する人は、出願期間や手続につ
いて調べていますか?

留学情報
収集

学力・
語学力UP!

財政能力の
確認

TOEFL等受験・スコア取得

※ 語学能力基準が設けられている協定校へ出願する場合は、
学内選考時に語学能力証明書を提出する必要があります。

留学説明会
(例年5月、10月頃)

【留学を希望する皆さん】

認定校留学

協定校留学

【国際教育センター】

8～9月出発
2～3月出発

■海外協定校(32カ国・110大学)

2010年2月現在 *交換留学制度を実施している大学

★商学部間協定校 ☆経営学部間協定校

○情報コミュニケーション学部間協定校



シェフィールド大学

●イギリス(6校)

シェフィールド大学*
ケンブリッジ大学ヒューズホール
ヨークセントジョン大学
カーディフ大学 カードフビジネススクール*★
ロンドン大学クイーン・メアリー・カレッジ
マンチェスター大学*

●フランス(12校)

ランス大学
パリ第一大学(パンテオン・ソルボンヌ)*
パリ第九大学(ドフィース)*
トゥールーズ第一社会科学大学*
レンヌ商科大学*★
国立東洋言語文化研究院*
リヨン第三大学*
ヴェルサイユ大学*
パリ第三大学(ソルボンヌ・ヌーヴェル)*
プロヴァンス大学(エクス・マルセイユ)*
パリ商業高等大学*★
エセムビジネスマネジメントスクール*☆

●スウェーデン(1校)

リンシェーピング大学*

●ドイツ(4校)

フリードリヒ・シラー・イエナ大学*
ブレーメン州立経済工科大学*★
ジーゲン大学*
ツェッペリン大学

●オーストリア(1校)

ウィーン大学*

●スイス(1校)

チューリッヒ大学*

●イタリア(3校)

シエナ大学*
ミラノ大学*
ヴェネチア大学*

●スペイン(1校)

アリカンテ大学

●ロシア(3校)

ブレハーノフ経済大学*
クラスノヤルスク教育大学*
国立経営大学*

●ハンガリー(1校)

エトヴェシュ・
ロラード大学*

●ポーランド(1校)

ウジ大学*

●ルーマニア(1校)

ブカレスト大学*

●ブルガリア(1校)

ソフィア大学*

●南アフリカ(2校)

フォートヘア大学*
リンボポ大学*

●セルビア(1校)

ベオグラード大学*

●ボスニア・ヘルツェゴヴィナ(2校)

サラエボ大学
バニャルカ大学

●タンザニア(1校)

ダルエスサラーム大学

●中国(18校)

中国人民大学*
延辺大学*
華東師範大学*
清華大学
西北大学★
深圳大学*
中央財経大学*
厦門大学*
上海交通大学*
雲南農業大学
遼寧大学*
雲南民族大学
内蒙古工業大学*
大連外国語学院*
北京大学
雲南大学*
蘇州大学*
南京大学

●ベトナム(2校)

ノンラン大学
ハノイ大学*

●マレーシア(4校)

マレーシア工科大学*
マレーシア科学大学*
マラヤ大学*
マレーシア・サラワク大学*

●シンガポール(1校)

シンガポール経営大学*

●タイ(1校)

キングモンクット
工科大学ラカパン校*

●ラオス(1校)

ラオス国立大学

●インド(1校)

インド科学院大学*

●インドネシア(1校)

バンドン工科大学*



高麗大

●韓国(10校)

高麗大*
梨花女子大学*
国立忠北大学*
同徳女子大学
国立慶北大学
仁荷大学*
大邱大学*
淑明女子大学*
慶尚大学*
全北大学校人文大学*○

●台湾(5校)

国立台湾大学*
中国文化大学*
国立虎尾科技大学*
国立台北大学*
国立嘉義大学*



アデレード大学

●オーストラリア(5校)

アデレード大学*
西シドニー大学*
サンシャインコースト大学*
ニューサウスウェールズ大学*
南オーストラリア大学*☆

●ニュージーランド(1校)

ワイカト大学

●カナダ(8校)

ヨーク大学*
アルバータ大学*
ヴィクトリア大学*☆
モントリオール大学*
ダルハウジー大学*
ユーコン・カレッジ
マクマスター大学
ラヴァル大学



オレゴン大学

●アメリカ(9校)

オレゴン大学*
アイオワ大学*
サザンイリノイ大学カーボンデル校*
ニューヨーク州立大学ニューパルツ校*
アラバマ大学*
ミズーリ州立大学*
カンザス大学
ノースイースタン大学*
南カリフォルニア大学

●チリ(1校)

国立サンチャゴ大学

はじめに

今の日本に暮らしていると、テレビやインターネットを通して世界中の情報が何でも手に入るように思えてきます。その情報量は私たちには処理できないほど多量で多彩であり、もう十分であると思われるかもしれません。しかし、実は何を選択して、何を信じればよいのか、それを批判的に読み解くことは簡単ではありません。私たちの目には、これまで生きて来た自分の世界のフィルター（枠組み）が幾重にもかかっているのです。

みなさんは大学の学びを通して、そのフィルターに気づき、物事の本質に迫ることのできる自己を築こうとしておられることと思います。しかし、メディアを通した情報や書物を通した情報だけでは得にくいもの、得られないものもあります。自分を実際に今とは異なる環境、異文化の場において、自分との関わりの中で、近づいてしっかりと見て、耳を傾けて聴きとり、繊細に感じ取り、それを言葉として発信し、相手とやり取りしてみても初めて理解に近づくという体験的なプロセスがとても大切です。

これからみなさんが卒業後に活躍される社会は、今よりも更に、そして遥かに国際化が進んだ世界になっていることでしょう。世界の大学生は、ヨーロッパの統合やアジアの急速な発展に伴って、留学爆発と言っても過言でないほど世界に出て学んでいます。みなさんにも、今暮らしている日本の社会、文化、言語、技術、環境をもう一度見つめなおし、同時に多様な社会に一時でも身を置いて、新しい未来の息吹を感じ取ってもらいたいと思います。

本学の留学制度は、そのように海外に目を開こうとするみなさんを助けるためにあります。この小冊子は、本学の海外留学制度を利用する場合はもちろんのこと、様々なシステムを活用して海外への留学を希望するみなさんのために、その内容と必要な手続きについて簡便にまとめたものです。みなさんの夢を実現させる一助となれば幸いです。

国際教育センター長
横田 雅弘

2010年4月

目次

1. 留学体験記	7
2. 本学の留学制度について	16
3. 留学に向けた計画と準備	23
4. 留学に係る学内手続きについて	29
5. 留学先への渡航準備について	31
6. 留学中に心がけたいことについて	33
7. 協定校紹介	35
8. よくある質問とその回答	60
9. 本学における語学講座の紹介	65
10. 各種語学能力・適正試験について	67
11. 留学情報機関・在日外国文化機関リスト	71
12. 留学に関する学則（抜粋）	73

1

留学体験記

2008年度・アルバータ大学（カナダ）協定校留学生

文学部文学科4年

留学を決めた理由は？

明治大学で勉強している英語学という分野に興味をもち、英語母国語話者はどのように言語学を勉強しているのだろうか？言語についてどう考えているのか、といった事に興味湧いた。また、海外のほうが言語学の研究はずっと盛んということで、自分の専攻科目に関する知識を深めたかったから。

留学のための準備

自分の専攻する分野の勉強を日本にいううちからしっかりしておいたおかげで、授業にもついていきやすかった。授業の背景知識がある・なしで大分違うと思う。

しておけば良かった事は、留学中の保険に入っておけば良かったと思う。幸いなことに、事故やケガ・災害等に見舞われることなく過ごせた。

留学先の大学の雰囲気

この大学の学生は皆よく勉強しているなあと心から感心した。図書館にはいつもたくさんの学生が勉強しているし、学校施設の机や通路、ソファなど至る所で夜遅くまでテキストを読んでいる生徒の姿が見られる。

授業は、日本のような教師が一方的に講義をする、というものでなく頻りに学生に問いかけてくる。学生も活発に意見を出し合っていて、良い勉強促進のサイクルができていた。

寮の雰囲気

あまり寮生同士の交流がなく寂しいものだった。時々パーティ等があっても集まるスペースが狭いので、食事をとって帰る生徒も多い。勉強スペース等が設けられているが、寮が教室移動のための通り道・食事場所・中心地となっていたため、人通りがとても多く勉強できるスペースではなかった。ただ、寮から授業でよく使われるような施設と直結しているため、部屋から教室への移動が非常に楽。

交友関係

友人関係をつくるために、いくつかのクラブに所属した。1つは留学生が多く集まるFriendship Groupというクラブで、週末に食事会をしたり、休みにどこかに旅行したりと、様々なイベントを通して友人を作ることができた。2つ目は私



のメンターが所属していた台湾クラブ。クラブ活動から個人的な付き合いに発展し、一緒に勉強したりご飯を食べたりと、一番深い友人関係を築けた。また、混声合唱団にも入団し、練習を通して団員との交流を深めた。

留学先での勉強

私は言語学を専攻した。ある程度の知識があったため、中級以上の授業を積極的にとって怠けることのないように努めていた。授業は難しく、もういいかっ！と諦めたくなったが、「何かの授業で現地の学生より良い点取ってTOPをとる」という留学前からの目標が支えて、何度も教科書を読み返したり、ノートをまとめたりと何とか食らいついていった。

課題・試験

他学部の友人はレポートが、課題読書が、とよく言っていたが、言語学部の課題はレポートは一切なく、言語データの分析をしていた。そのため、特に英語力（英文法や構成・語彙）は問われない。他の学生との不利な点がないため、課題で後れを取ることはなかった。

試験対策は教科書・レジュメの内容をまとめたノートを作成し、どんな問題が出るか予想して勉強していた。

大学外の活動

Winter termからToastmasterとうスピーチクラブ（当然、英語）に通い始めた。メンバーで学生は私一人、周りはみんな自分の両親と同じくらいの年齢の方ばかり。大人の人は留学生に親切！



という勝手な思い込みで入ったが、予想通り皆優しく、多くのスピーチの機会を与えてくれ、スピーチ原稿の添削や表現の仕方なども教えてくれた。留学中一番充実した時間を送れたのはこのToastmasterクラブで勉強・練習・発表していた時だと思う。

留学を志す人へ

留学した一番の収穫は自分の弱さがわかったということ。実は怠けものだったり、積極的になれなかったり、向上心がない自分を見つけた。いかに自分に向き合うかが肝心だと思う。弱さをいかに克服するかが私の留学の一番のハードルだった。

2008年度・オレゴン大学（アメリカ）協定校留学生

政治経済学部
政治学科4年

留学を決めた理由は？

小さい頃から英語を習っており、留学したいと漠然と思っていました。中学・高校・大学と多くの人と会う中で国際関係学を勉強したくなりました。それを人種のるつぼであるアメリカで学びたいと思ったので留学を決めました。

留学のための準備

履修したい科目の基礎知識はあった方がいいと思います。私は国際関係学が学びたかったので何冊か本を買って勉強していきました。また、日本人としてどう思うかと聞かれたり、自分が答えたことが日本の意見と取られることも多いです。しっかり勉強して自信を持って自分の意見を言えるような準備をすれば良かったと思います。日本について聞かれることも多いので、私はアカデミーコモンで開講している英語で学ぶ日本文化で学びました。

この留学先を選んだ理由

国際関係学の授業が充実していたから。また、原爆について以前から興味があり、アメリカ人や他の国の人々がどのように考えているかを直に聞いてみたかったから。

留学先の大学の雰囲気

University of Oregon があるEugeneは非常に治安が良い場所です。人々は優しく、のんびりした時間が流れています。現地の学生も留学生に対して親切でした。太陽を楽しんだり、雨を楽しんだり、自然と仲良しな人々でした。

寮の雰囲気

寮はミーティングが定期的であり、違うフロアの学生とも知り合えます。同じフロアの学生とは一緒にごはんを食べに行ったり、遊びに行ったりしていました。友達がすぐにいる環境なので心強かったです。



交友関係

UOは日本人の留学生が多いです。その環境を生かすか否かは自分次第です。彼らと良い距離感をとりながら大学生活が過ごせれば問題ないと思います。また、時々日本語を話すことはストレス解消になるのでおすすめです。外国人の友人については、最初の

オリエンテーションや、授業、キリスト教団体が主催しているパーティーなど様々な機会に出会うことができます。積極的に話しかけて広い交友関係を築くことができます。



留学先での勉強

わからないことはすぐに聞き、すぐに問題を解決するように心がけました。友達に聞いたり、教授やTAに相談したりして、なんとか授業についていく努力をしました。周りの人々はとても親切なので、なんでも相談するのが良いと思います。

課題・試験

日本の大学では考えられない、さらに聞いてはいたもののこんなにあるのか！と思うほど大量の課題が出ます。朝3時までかかってレポートを仕上げることも珍しくありませんでした。自分の力だけでやらなければならない課題もありますが、困ったり悩んだりしたときには、積極的に周りに協力を求め、自分の勉強に役立てていました。

大学外の活動

日本語のチューターをしていました。

留学を志す人へ

留学は努力次第で手に入れられるものです。また、留学してよかったかと思えないかは自分の努力次第です。留学はすべて自分自身で決まります。大変なことがあっても努力して留学を実現し、学んだ、自分が成長できたと思う留学になるように頑張ってください。

2008年度・ニューヨーク州立大学ニューパルツ校（アメリカ）協定校留学者

法学部法律学科
2010年卒業

留学を決めた理由は？

小さいころから、絶対に実現させようと考えていたから。また、将来国際的に働くには、実際に海外に行き、言葉はもちろん、現地で経験することが大切だと考えていたため。

留学のための準備

もっと日常会話に重点をおいた学習をしておけば良かったと思う。日本の授業とは異なり、授業中に発言されることが求められるからである。現地では、正しいことを言わなくても誰も文句等言わないが、発言しない人は相手にしない傾向がある。

この留学先を選んだ理由

NYCに近く、また、治安が良いと聞いたから。

留学先の大学の雰囲気

校内は緑が多くゆったりとしている。学生は、気さくな生徒が多い。

寮の雰囲気

頻繁にラウンジなどでイベントが行われており、アメリカの文化に触れ、寮内でも友人の輪を広げたい人には最適であると言えるであろう。



交友関係

授業で積極的に話したこと、及び、留学生パーティーなど、人が集まるイベントに多く参加することにより、今でも頻繁に連絡を取り合う10カ国以上の友人を得ることができた。彼らとは、学校の休みを利用し、旅行に行ったりした。



留学先での勉強

私は、幅広い領域の授業を履修していた。そのため、ライティング、プレゼン等、多くを経験することができた。最初は、授業が難しく感じたが、実際に予習・復習のサイクルを生み出すことにより、当初の不安は解消されていった。また、教授など、気さくな方が多いので心配ごとなど相談に乗ってくれた。

課題・試験

課題の量は結構多い。しかし、それを怠らずに毎回こなしていた結果、知識が定着し、大きな試験でも動じることがなかった。

大学外の活動

NYCの学生活動に参加していた。

留学を志す人へ

「やらないで後悔するより、まず実行！」物事は自分から行動を起こさない限り始まらない。やらなかったことを後悔することは簡単だが、やったことを後悔する“後悔”とは重みが違う。なぜなら、行動後の後悔は、反省点・改善点などの付加価値を生み出してくれるからである。失敗を恐れて何もしないのではなく、いろんなことにチャレンジしていった欲しい。



2008年度・フリードリヒ・シラー・イエナ大学（ドイツ）協定校留学生

情報コミュニケーション学部
情報コミュニケーション学科
4年

留学を決めた理由は？

この留学をする前にアメリカに1ヶ月程、語学留学をしました。その後、より長期で色々な海外経験を得たいと思い留学をしたいと思いました。その際、英語圏ではない所の方が面白そうだと思う、ちょうど第二外国語でドイツ語を履修していたのでドイツに決めました。

留学のための準備

語学の準備として、ゲーテ・インスティテュートでZDという語学資格を取りました。ただそれは言葉に対しての不安を少し軽減するだけで、それでも不安はもちろん残っていました。正直、言葉はなんとかかります。むしろ日本の事（文化、行事、自分の故郷など）を勉強しておいた方がいいと思います。祖国のことを語れず、恥ずかしい思いをしたことがあります。また、日本の定番料理が作れるようにしておくことをオススメします。

この留学先を選んだ理由

明治大学とドイツ語圏で協定を結んでいる大学は限られていましたし、4月から留学できるのはこのイエナ大学だけだったのでこの留学先を選択しました。



とあるイエナの街角

留学先の大学の雰囲気

ドイツ人学生はもちろんのこと、色々な国籍の学生がいました。町のメインが大学と言っても過言ではなく、町に学生が溢れていました。ドイツの学生は遊ぶときは遊ぶ、勉強するときは勉強すると、メリハリがありました。また学費も安いですし、ドイツは学生に優しい国といえます。

寮の雰囲気

私の場合は同居人が2人（ドイツ人と東欧人）いたのですが、生活リズムが異なったため、残念ながらあまり頻繁には交流ができませんでした。ただ顔を合わせれば親切にしてくれました。また各々部屋がありますのでプライバシーの確保や一人の時間を持つことができました。人によっては、共有スペースで個人的にパーティを開く人も居るようです。

交友関係

もちろん言葉は拙かったのですが、自分のチューターを始め、そのチューター周辺の友達やクラスの人と仲良くなりました。イエナには明大以外の日本の大学の学生もいるので彼らとも交流しました。また頻繁に色々なパーティがあり、そういうところに行くことで交友関係が広がりました。なにより積極的に話しかけることが大切なんだなと思いました。

課題・試験

どの授業も毎回宿題はありました。もちろんすべてドイツ語ですし、慣れない日々がしばらく続きました。しかし、生活すべてが勉強でもあり、学習したことをすぐに実践できるので、ペースがつかめれば楽しくなります。

大学外の活動

チューターの誘いで一緒にサッカーをしたり、クラスメイトや地元ドイツ人らと体育館でフットサルをしたりしました。天気が良い時は週末を利用して、ちょっとした小旅行をしたり、近くの州都ErfurtやWeimarへも遊びに行ったりしました。

留学を志す人へ

この留学を生かすも殺すも自分次第。自分が動いただけその分色々なものが返ってきます。そのときは辛くても、後にそれはすばらしい思い出、いい経験となって自分の一生の宝物になります。だから失敗を恐れず、自ら苦しみを買うくらいの気持ちでチャレンジしてみてください。そしてなにより、「笑顔」を忘れないで。



My Tutor, My Friends

2008年度・ヨーク大学（カナダ）協定校留学者

商学部商学科
2010年卒業

留学を決めた理由は？

海外での生活や留学自体には大学入学前から憧れがありました。しかし英語学習だけでなく専門分野の勉強をしたいと思ったので大学在学中の交換留学を志望しました。特に国際経済や貿易の勉強に興味があり、それを日本とは違った環境で学びたいと思いました。

留学のための準備

カナダの授業では自分の意見を書いたり話したりする機会が多いので、ライティングやスピーキングの勉強をもっとするべきだったと思いました。その際は単に文法が正しいだけでなく、自分の意見を自分の言葉で書いたり話したりできているか、という点にも重点を置くべきだと思います。

この留学先を選んだ理由

アメリカ以外の国でアメリカや日本を客観的に見ることできる国に留学したいと思い、カナダを選びました。また、カナダの中でも多くの民族が共存し経済の中心地でもあるトロントで勉強したかったので、ヨーク大学を選びました。

留学先の大学の雰囲気

とにかく学生数の多い大規模な学校でした。平日の昼間に図書館へ行くと、とても混雑していて、学生の真剣さが感じられました。暖かい季節には芝生でのんびり過ごす学生もいて、メリハリのある生活を送っているようでした。また、学内に飲食店、銀行、小さなスーパーなどがあり、ひとつの小さな町のような感じでした。



ヨーク大学のシンボルVari Hall

寮の雰囲気

寮は学生同士の仲がよく、定期的にミーティングがあったりドン（上級生の寮長のこと）がとにかく親切だったので安心できる雰囲気でした。毎年恒例のイベント以外に、自主的にイベントを開く学生もいました。とても賑やかな寮だったので騒音で困ってしまうこともありましたが、全体的には良い環境だったと思います。

交友関係

最初尻込みしてしまいましたが、寮の学生たちはとても親切で、生活面で分からないことをよく教えてくれました。寮以外では日本に興味を持っているカナダ人と友達になり、授業の合間に会って話したりしました。また、他国からの留学生とはすぐに仲良くなれ、アジア、ヨーロッパ、南米など各国の出身者とその国のご飯を

食べに出かけたり、家に泊めてもらったりしていました。

留学先での勉強

主に経済学の勉強をしていました。最初は授業が聞き取れず焦りましたが、だんだんと耳が慣れてきてどうにかついていくことができました。それでもレポートやプレゼンでは不安が多く、TAに相談しに行ったりしました。どの授業でも留学前に学んだマクロ・ミクロ経済学の基礎知識が役に立ちました。

課題・試験

課題はエッセイ、問題演習、グループワークなど様々な種類がありました。問題演習に関しては教科書を熟読し、正しい答えを導き出すことで対応できましたが、それ以外の課題では自分の考えを整理し、資料を集めたりする作業があったので時間がかかりました。大変でしたが、どれも終わった後に達成感を得られるものばかりでした。

大学外の活動

日本語能力検定を主催している団体でボランティアをし、試験監督のお手伝いをしました。

留学を志す人へ

留学中は楽しいこと半分、辛いこと半分という状態でした。それでも辛い時はよくよく前向きでいるように心がけていけば結果的に良い経験になるはずです。留学しようとする準備段階から挫折することがたくさんあると思いますが、プラス思考でしぶとく努力してください。



留学生仲間とトロントアイランドにて

また、準備段階から自分でできることはなるべく自分でするようにした方がよいと思います。もちろん学校関係者の方や家族の協力あってこそですが、最終的には自分の意志で乗り切れるようになっておくとうれしいと思います。

2008年度・リヨン第三大学（フランス）協定校留学者

法学部法律学科
2010年卒業

留学を決めた理由は？

明治大学がフランス法を教える大学として創立されたと知りフランス法に興味を持ち、せっかく勉強するなら本場で学びたいという思いからフランス留学を希望しました。元々語学が好きであったことも留学の決めた理由の1つです。

留学のための準備

語学力を上げることです。どんなに準備してもしすぎることはありません。また、留学先ではフランス人に混じって講義を受けるので、自分の専門分野の語彙を増やしておくことも必要となります。

しておけば良かったと思う準備は、日本食を作る練習です。外国の人に振る舞うときっと喜ばれます。

この留学先を選んだ理由

以前リヨン第三大学に留学していた先輩が薦めて下さったからです。トゥールーズも候補にあったのですが、トゥールーズには前に語学留学で行ったことがあったので、今回はリヨンにしました。

留学先の大学の雰囲気

さまざまな国から留学生が来ており、インターナショナルな雰囲気でした。留学生と現地の学生との間にあまり隔たりがなく、皆親切でした。授業は1コマ50分×3と長丁場なのに皆真剣に聴いていました。

寮の雰囲気

あまりきれいではなかったけど広いし、暖房をつけなくても暖かったです。ただ、寮に住む人たちの共同のスペースがなかったのであまり交流はありませんでした。ルームシェアを始めてからは1日中フランス語に浸ることができました。

交友関係

前期の授業が始まる前に、留学生向けのオリエンテーションがあったので、そこで多くの人たちと友達になれました。授業が始まってからはフランス人の友達もできました。

パーティーに行くと交友関係が広がります。



留学先での勉強

フランス語の授業は大丈夫でしたが、法律の授業は初めはついていくのが大変でした。ノートを取りながら講義を聴くのが難しかったので、パソコンでノートをとっているフランス人をお願いしてノートをもらい、授業中は聴講に徹しました。

課題・試験

フランス語のテストでは、出席、小テスト、プレゼン、期末テストの点の合計で成績が出ました。法律のテストは、留学生向けの口頭試験。チュートリアルと併せてとっている法律の授業のテストは、フランス人向けの筆記試験でした。

留学を志す人へ

この報告書を読んでいる人たちの中には、留学したくても就活との兼ね合いで留学を悩んでいる人が多いかもしれません。確かに、留学をすると就活を始めるのが人よりも遅れてしまったり、就職年しなくてはならなくなります。しかし、長期で海外で生活をする機会は、時間のたっぷりある今しかありませんし、海外で仕事をしたい場合でも、若いうちに語学を習得していなければなかなか実現できないと思います。それに、語学の面だけでなく、長期間海外で生活したという経験はどんな形であれきっと役に立つと思いますし大きな自信につながると思います。ぜひ皆さんもチャレンジしてみてください。



2008年度・リンシェーピング大学（スウェーデン）協定校留学者

政治経済学部
学部経済学科
2010年卒業

留学を決めた理由は？

自分の尊敬しているゼミの教授が、学生は留学をすべきと勧めてくださったこと、そして、ACEという英語クラスを通して過去に留学された先輩、先生の話を知ったら自然に自分も留学したいと考えるようになっていきました。また学生のうちに外国の友達を作りたいとも考えていました。結果的に日々の生活の中で徐々に留学にたいする気持ちが強まっていきました。

留学のための準備

準備すべきこととして、ある程度具体的な授業計画を事前にたてること。出国前の計画性がしっかりしていれば、留学先で混乱しません。学業面に関してはライティングの勉強を勧めます。リスニング、スピーキング力は授業をまじめにうけていたら、自然に上昇します。ただ、問題なのはライティングの書き方です。これは事前に勉強すべきです。自分はライティングの書き方に非常に苦労しました。なのでライティングの参考書を数冊持参すべきです。

この留学先を選んだ理由

スウェーデンの福祉、環境への取り組み、またライフスタイルから日本が学ぶべき点がたくさんあると感じたからです。また、北欧諸国で勉強ができる機会はそれほどないと考えていました。一方でアメリカ、カナダは将来ビジネスで行く機会がそれなりにあると聞いていたからです。

留学先の大学の雰囲気

大学の施設はとても充実していると感じました。キャンパスはとても広々としております。学生はファッションに対する意識が高く、僕を除いてみなオシャレな方たちばかりでした。またスウェーデン人女性はきれいな人が多く、度々ドキドキしながらキャンパスを歩いていました。また、スウェーデン人のidentityは日本人に近い部分が多くあったので居心地はわるくありませんでした。

寮の雰囲気

自分のコリドーメイトはみないい人たちばかりだったので、充実した寮生活が送れました。共同キッチンだったために、時として一緒に料理を作ったり、食べたり、さまざまな交流の機会がありました。しかし、共同キッチンのために、たまに、ゴミが散らかっていたり、洗物が放置されていました。そんなときはハッキリ相手に物申す必要があります。

交友関係

自分は韓国人、シンガポール人とすぐに親しい関係を築きました。アジア人といくと変な話ですが、落ち着けました。もちろん様々な国籍の方たちと知り合う機会が、授業、パーティーを通してありました。また奇跡的に剣道部を見つけました。その結果、その剣道部のスウェーデン人たちと仲良くなれました。一方で日本人との交流はほとんどありませんでした。

留学先での勉強

自分はすべてビジネス関係科目を選択していました。そのため、すべてが新しい内容だったので理解するのに苦労しました。また基本的にスウェーデンの授業は週40時間勉強することが求められています。まるで仕事のようなものです。そのために勉強にける時間が非常に多く求められます。またグループワークは大変です。スウェーデンの授業では必ずといっていいほどにグループワークがあります。なので時には人間関係に悩まされました。

課題・試験

最大限努力すれば必ず試験に合格できます。ただ、少しでもサバれば必ず試験に落ちます。自分はそう実感しました。自分は授業についていくために、平日、時には休日にも図書館にこもり勉強していました。正直、楽ではありません。試験に合格できたときは努力分の達成感が味わえます。困ったり、わからないことは先生に積極的に質問しましょう。必ず解決のヒントをあたえてくれます。

大学外の活動

まさかの剣道部をスウェーデンで発見したので、至急、日本から防具を取り寄せました。気がついたら自分にとって剣道がエンターテイメントになっていました。スウェーデン人は一生懸命稽古していたので、自分もモチベーションをキープして稽古に取り組みました。また、ヨーロッパ大会にも出場することができ、貴重な経験ができたと感じています。ただ、入賞できなかったのが悔しいです（笑）

留学を志す人へ

留学生活すべてのチャンスに必死にくらいいてください。勉強、趣味、恋愛、食事、生活のすべてです。つらくてたまらないときは、寝るか、泣いてください。こまったときは必ず誰かが助けてくれます。日本人女性は非常に海外男性から人気があります。女性はぜひ留学すべきです。男性諸君は残念ながら海外女性からの人気はイマイチです。そのぶん日本男児の勤勉さをみせつけてやってください。



スウェーデンの剣道仲間

2008年度・中国人民大学（中国）協定校留学者

政治経済学部
経済学科
2010年卒業

留学を決めた理由は？

私は華人ということもあり、高校時代から大学に入って留学する、ということは決めていた。

留学の目的としては、

- ・語学をネイティブレベルに上げる
- ・将来中国で起業する為に今のうちからの中国社会の仕組み理解
- ・面白い友人を作る

といったことが挙げられる。

実際大体達成できたと思う。特に日本では出会えなかったような複雑で刺激的なバックグラウンドを持った友人が何人もできてとても良い経験と財産になった。

留学のための準備

私は留学するまで殆ど中国語の勉強をしていなかったため、前期から経済学院のみ受講することはできなかった。（語学レベル的に）だから、事前にHSK8級程度までは勉強すべきだったと後悔している。

この留学先を選んだ理由

中国人民大学は文科系中心の大学であり、中国国内での評価も非常に高く、現在では一部経済コースと法律コース、メディアコースで国内大学学部別ランキングで1位～3位に食い込んでいます。明治大学の協定校先でも大陸の中では最も良い大学であり、明治大学に入ったときからここにいくと決めていました。

留学先の大学の雰囲気

中国の、特にいいとこの大学の学生は本当に真面目です。

彼らは幼稚園から勉強を始め、18歳まで長期休みも含めて勉強漬けの毎日を過ごします。ですから、頭は非常に良く、優秀ですが、コミュニケーション能力といった面では平均的に見るとやや日本人に見劣りするところがあります。

しかし、大学生は皆いい人ばかりです。是非日本人同士でかたまらずに、なるべく中国人の人と接してください。多くの発見があると思います。

交友関係

様々な国の人たちが、中国人、華僑系の人など色々いました。

特に仲の良かったのが、さきほど上にも挙げたアメリカ系華僑とカナダ系華僑の人で、彼らとは頻りに会ってました。他にも人民大学の本科



前期に参加していた中国語のクラスメートと

生に中国人民大の数人とも仲がよく、ちょくちょく食事に行っていました。彼らとは今でもSkypeやMSN、QQで連絡があり、今後も付き合っていきたいと考えています。

留学先での勉強

私は基本的に自分で本を読むのが好きなので、部屋で本を読むことが多かったです。大学の勉強については語学は割りと気楽で、予習・復習を軽くやればよいといった感じです。本科の授業はしばしばわからない単語が出てきますが、そのたびに調べて専門用語のボキャブラリーを増やしていきました。

課題・試験

語学の試験は楽です。本科は経済学部は日本と違って数学系の科目が非常に多いので、数学が全くだめという人は相当の勉強が必要になります。

大学外の活動

学外では親戚や、明治大学のOB会、それに学校の友人を通じて知り合った他大学の友人などと交流していました。また、北京大学の日本人、中国人とも多少交流を持っていました。

留学を志す人へ

僕自身も人にえらそうなことは言えないのですが、正直な話をすれば、殆どの日本人が日本人同士で集まっており、本科の授業にも出なく、中国人の友達もあまりいないため、留学はしたけれど「中国」という社会の仕組みや文化を全くといっていいほど理解しないで、または誤解して帰っていきます。はっきりいって時間の無駄だと思います。



四川省九寨溝という世界遺産に登録されている場所

私も実際、前期は日本人と多く居すぎたなと反省しているので、これから留学される方は是非、同国の人とは極力接せずに、積極的に中国人、または各国の人々と交流してください。異文化を感じてください。価値観の相違を理解して許容できるようになってください。

日本社会は世界に類を見ないほどの同質性があります。フリーターと東大生でも同じバイト先で働くこともあれば、付き合うこともあります。中国ではそうではありません。世界には格差や価値観の違いが溢れています。どうぞそれを感じ取ってください。必ずや将来のキャリアを考え、構築する上での糧となるはずです。

2009年度・高麗大学（韓国）協定校留学生

文学部
史学地理学科4年

留学を決めた理由は？

留学をしようという気持ちは高校生のときからありました。高校1年生の時に米国での海外研修ホームステイを経験して、家族旅行とは違う感覚を味わったのが最初のきっかけだと思います。そして自立の意味を含めての“自由”、“外に出てみたかった”という気持ちが強くありました。また、留学先もそのころから絞り、絶対に大学生生活の1年間は韓国で過ごすんだと決めていました。

留学のための準備

語学力（英語にしろ韓国語にしろ）がきちんと備わっていれば受講できる科目数も多いでしょう。もちろん外国人学生枠として韓国語の授業もあり、留学中に韓国語力を伸ばした友達も多いので、最低限の韓国語を知っているだけでも留学を楽しむことができます。これはどこも同じですが、韓国人をはじめ他国留学生はとて日本に関心があるので、日本のことをジャンル問わず紹介できるような知識があればよかったと思います。

この留学先を選んだ理由

韓国には幼いころから関心や疑問があったので、本来の韓国を知りたかったのが第一の理由です。また、首都のソウルで生活してみたかったし、ソウルにある協定校では、高麗大学校（以下高麗大）が韓国でSKYと呼ばれるトップクラスの大学の一つであるのも理由のひとつです。留学を決めた時から高麗大に行きたいという意思がありました。

留学先の大学の雰囲気

高麗大の第一印象は迷路でした。キャンパスが広すぎてどこに何があるのか、地下設備も素晴らしい、建物は西洋の古城を連想させるようなものがたくさんありました。学生は真面目です。真面目すぎるといってもいいと思います。勉強をいつも意識



スノーボーも行ってきました

し、試験前になると図書館は満席になってしまうほどです。そんな彼らですが、遊ぶ時はとことん騒ぎます。日本の早慶戦と同じ韓国の高延戦では、彼らの生き生きとした姿を見ることができました。

寮の雰囲気

寄宿舎はホテルのようです。すべてが立派すぎて文句なし。外国人専用ということもあり、韓国語が全く分からない外国人が多く、共通言語は英語でしたので、私にとっては英会話の勉強場でした。韓国にいながらも国際豊かな環境で“小さな地球”という感じです。男女の交流する場は少ないけれど、寄宿舎内でいろいろなイベントがありました。寄宿舎の警備員さんは規則にとて厳しいけれど普段はとてやさしく、おしゃべり（もちろん韓国語）が弾みます。



北漢山登山中

交友関係

留学当初はほぼ英語で、私にとてとても刺激ある環境のなか、寄宿舎仲間やKUBAという高麗大の国際交流団体との交流を通じて友達の輪を広げていきました。自分から積極的に行動することで拙い英語でも欧米人の友達は私を受け入れてくれ、一緒に過ごす時間が多かったです。授業開始とともに共通言語が韓国語に変わ



韓国舞踊

わり、また、日本人学生もとても多かったのいつしか日本人学生との交流が盛んになりました。夏休みには、語学プログラムのイベントで、11人の日本人学生と一緒に日本伝統踊りのひとつ、ソーラン節を披露するなど絆が一層深くなりました。後期では、ほぼ日本人学生との交流が主となり絆について改めて考えさせられたこともありました。留学期間中に多くの人との交流を通して、コミュニケーションの大切さを改めて知りました。

留学先での勉強

留学生は特定の学科に属することなく、多様な授業に参加することができます。韓国語の授業のほか、私は明治大学でアジア史を専攻しているので、韓国の歴史や文化に関わる授業を中心に受講しました。

専門用語が出てくると一回では理解できなかったこともあり、挫折しかけたこともありましたが、しかし授業の内容を録音して復習時に聞き直してみるという工夫をしたり、受講生の協力を得てノートを見せてもらったりしました。聴講科目でも、他の受講生が私の分までプリントをコピーしてくれたり、いろいろな面で助けてもらいました。

課題・試験

試験で大変だったという記憶があるのは1学期のときに受講していた韓国語講義でした。教養ではなく専門科目だったこともあり授業の内容も濃く、教科書の内容をすべて把握しなければならないものでした。中間審査では、まだ試験勉強方法がうまく掴めずひたすら日本語訳→日本語での理解→韓国語再訳→韓国語での理解と効率が悪かったのではと思うほど、時間をかけていました。時には睡眠時間を削ってまで勉強しなければならぬ時もありましたが、でもその頑張りの成果はあったと思います。

大学外の活動

休暇を利用して、地方の村でボランティア（家庭訪問）に参加したり、元従軍慰安婦の村に行きおばあちゃんたちの引越しのお手伝いをしたこともありました。

留学を志す人へ

留学の“志”とはひとそれぞれだと思います。なので、私から「こうしたほうがいい」とか「これはだめ」ということは言いません。でも、留学が自分を成長させるモノになるのか否かは自分次第だと思います。まったく後悔なく留学を終えた人はそういないと思います。私自身やり残してきてしまった部分も多いけれど、それ以上につかんだもののほうが多いです。何事にも決して諦めず、目標をしっかりとって夢を実現させて下さい。留学中は勉強も大切だけれど、その国の文化を味わう遊びもとても大切だと思います。

2

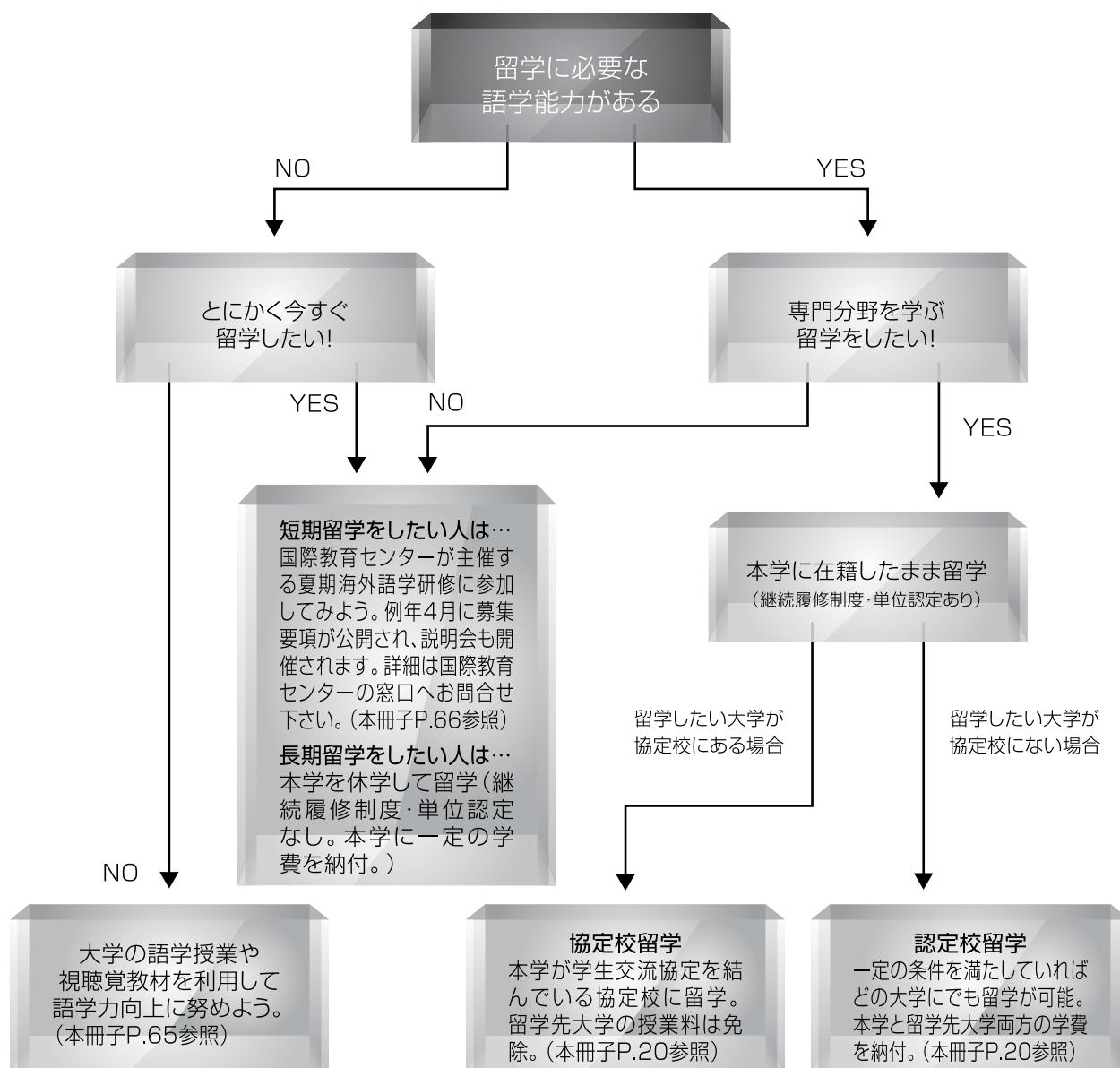
本学の留学制度について

1 明治大学における外国留学制度について

本学では、学部学生、大学院生のみなさんが本学在学中に留学を希望する場合、より留学がしやすいように留学制度を設けています。この留学制度には、協定校留学と認定校留学という二つの形態があります。

いずれも本学に在籍したまま留学ができ、また留学先で取得した単位が、一定の条件の下で本学の卒業要件単位として認定される可能性があるなどのメリットがあります。以下に制度の概略を説明しますが、取扱いはいずれの学部や大学院によって異なる場合がありますので、これらの制度の適用については、所属学部・研究科窓口で確認する必要があります。

また、本学の留学制度を利用しないで留学をする場合は、休学となり、在学期間に算入されず、継続履修制度、単位認定などは適用されませんので注意してください。



(1) 協定校留学、認定校留学の共通点

在 籍したまま留学ができます

本学の留学制度を利用して留学をする場合は、休学をしないで在籍したまま留学が可能です。つまり原則として留学中の1年間は本学で1年在籍しているのと変わりません。(後述の「継続履修制度」、「単位等の認定」の項を参照して下さい。)

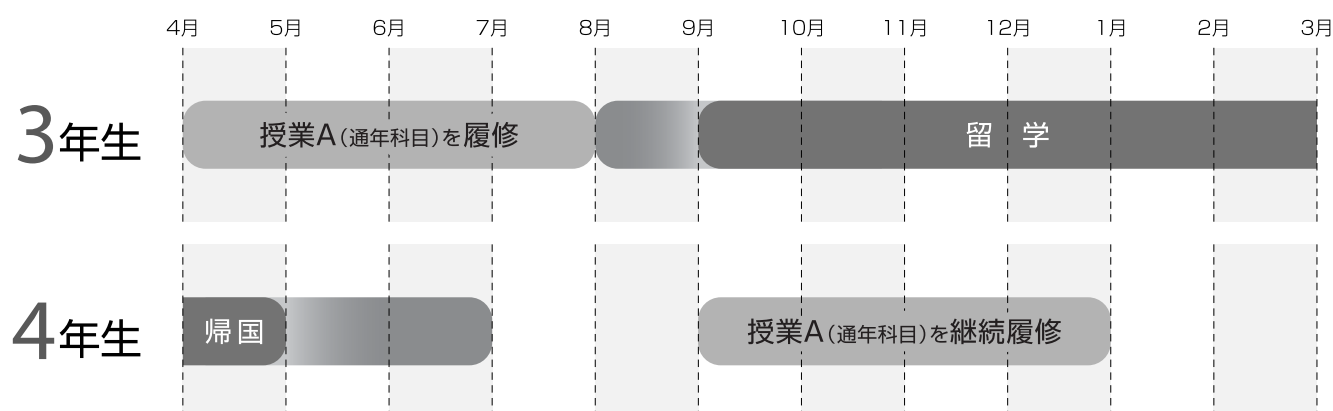
継 続履修制度を適用できます

本学と留学先大学の学年暦のずれにより、本学の通年科目の履修に支障が出る場合があります。これを解消するのが継続履修制度です。

出発年度の前期と帰国年度の後期で同一科目を履修し、その履修を合わせて、1年間継続して履修したものとみなします。この制度利用により、留学期間の1年を含めて4年間で卒業できる可能性があります。ただし、そのためには、学部毎に複雑な卒業要件があるので、予め本学及び留学先での履修計画をよく検討する必要があります。継続履修願は、留学願と一緒に所属学部・研究科窓口に出します。

学部生の場合、学部により、ゼミ・卒業論文等の取扱いが異なることがありますので、事前に所属学部で十分確認してください。

例) ※学部・研究科毎に異なりますので、留学前に必ず所属学部・研究科窓口にご相談して下さい。



☆教職課程・社会教育主事課程・学芸員養成課程・司書課程・司書教諭課程の履修者

これら上記資格課程の設置科目は、原則として一般科目の取扱いに準じますが、教育実習の時期等の問題があります。留学を希望する場合は、資格課程事務室（アカデミーコモン8F）に履修や教員免許等の取得について、事前に相談してください。

留 学先で取得した単位が認定される可能性があります

留学先大学で取得した単位は一定の条件のもと、原則として本学の卒業要件単位として認定される可能性があります。但し、取得した単位がすべて必ず認定されるわけではありませんので注意してください。

■認定される単位数：学部生は30単位まで、大学院生は10単位まで

※この単位数は本学の単位計算法によるものであり、留学先大学で修得し、表示されている単位数とは異なります。例えば留学先大学では、5単位の科目であっても、本学では2単位として認定される場合もあります。



■認定される科目の範囲：

- ①原則として所属学部・研究科設置科目に相当するもの及び関連科目で、まだ単位を取得したことの無い科目であること。例えば留学先大学で社会学という名称の科目の単位を取得したとしても、本学で既に社会学という名称の科目で単位を取得している場合は認定されません。
- ②上記に該当しない科目については、本人の留学目的、専攻などを考慮して学部・研究科において決定します。
- ③卒業論文・卒業指導は原則として認定される科目の範囲から除きます。

■単位認定の方法：

帰国したら、所属学部・研究科窓口で帰国届とともに単位認定願を受け取ります。指定された期日までに次の書類を添えて所属学部・研究科窓口提出してください。

- ①留学先大学の正式な成績証明書
- ②講義要項（University Calendar、Catalogの該当講義部分）
- ③シラバス等科目の内容、講義時間数、課題や宿題などを示す資料
- ④その他所属学部・研究科が提出を求める資料

上記の資料を基に学部教授会・研究科委員会・研究科教授会が審査・認定します。また、場合により面接や筆記試験が加えられることがあります。

■単位数の換算：

留学先で修得した科目の単位数と認定を希望する本学設置科目の単位数が異なる場合、その授業時間数を計算し、本学の単位に換算します。



学経費助成金を申請することができます

本学の留学制度を利用して留学した学生に対し、選考の上、助成金を支給します。これは返還の必要のない給付奨学金です。

〈明治大学外国留学経費助成金〉

■支給金額：協定校留学者30万円以内、認定校留学者50万円以内

■募集人員：毎年度30名以内

■申請時期：例年6月～10月頃。

■申請・支給手続：所属学部・研究科から正式な留学許可を得た後、所定の申請書を所属学部・研究科窓口提出します。オーストラリアや韓国への留学の場合、申請期間と留学期間が重なることとなりますが、該当者は出発前に国際教育センターに相談してください。

■受給者の義務：助成金受給者には帰国後に所定の留学報告書を必ず提出していただきます。報告書の提出がない場合には助成金の返還を求める場合もありますので、忘れずにご提出下さい。

〈明治大学連合父母会海外留学助成金〉

■助成金額：一人20万円以内

■募集人数：20名程度

■助成対象：学部生

■申請手続：上記外国留学経費助成金に申請した方が選考審査対象となります。

留学の期間

- ① 留学期間は原則として1年間（1学年間）以内で、本学の在学期間に算入されます。1学年間とは授業が実際に行われている期間を指し、9～11ヶ月が一般的です。例えば、8～9月から欧米や中国に留学した場合の帰国時期は、通常5～7月ごろになります。1学年未満の留学については、各学部・研究科窓口にご相談して下さい。
- ② サマーセッションなどを受け、完全に1年間留学していただくことも可能です。ただし本学での授業に支障をきたさない場合に限りです。
- ③ また、公的・私的機関募集の奨学金留学には、2年間留学の例があります。この場合は応募前に所属学部・研究科窓口にご相談して下さい。

(2) 協定校留学、認定校留学の違い

留学する大学が異なります

■協定校留学の場合：

明治大学が学生交流協定を結んでいる大学（交換留学を実施している大学）に限られます。

■認定校留学の場合：以下の条件を満たしていればどこの国へも留学が可能です。

- 学部生……学士号の授与権を有する大学であること。ただし正規課程への留学のみ認めます。付属の語学学校ではなく、学部や学科に正規留学をすること。
- 大学院生…①学位の授与権を有する高等教育機関
②その他研究科委員会が特に認めた高等教育・研究機関

注 意：2年制カレッジ、コミュニティ・カレッジ、各種専門学校、日本の大学の海外分校は留学の対象機関とはなりません。

外国語能力基準

■英語圏の協定校留学の場合：

各協定校や志望する学部・学科により大きく異なりますが、2009年度実績では少なくともTOEFL-iBT61点以上が必要です。（本冊子P.35以降の各協定校留学出願条件も参照してください。）

■英語圏の認定校留学の場合：

TOEFL-iBT61点以上を出願条件としていることが必要です。iBT61点未満で入学可能な場合でも、本学ではこれを認定校留学として認めていません。

■英語圏以外への協定校・認定校留学の場合：

協定校は受入先大学の定める基準を満たす必要があります。中には語学能力試験の結果を求める協定校もあります。認定校に関しては希望大学によって異なりますので、各大学の指示に従ってください。

学内選考

協定校留学希望者は、学内選考に応募する必要があります。学内選考の概要は以下の通りです。志願者は必ず当該年度に掲示される募集要項で詳細を確認して下さい。



■募集時期：5・6月頃（オーストラリア・韓国）

10・11月頃（オーストラリア以外の英語圏、仏、独、伊、中国、ロシア、その他の語圏）

■応募資格：留学希望先大学の要求する語学基準、募集要項に記載される条件を満たしていること。

■選考内容：書類選考と面接選考があります。書類選考を通過した方には日本語と留学先言語による面接が実施されます。

■提出書類：

- ①所定の志願書類（志願書、同意書、留学計画書など）
- ②TOEFLのスコアレポート等の語学能力証明書…出願時に原本を提出する必要があります。
- ③最新の成績通知表の写し
- ④その他、当該年度の募集要項に記載されている書類

2 協定校・認定校留学の相違一覧

	協定校留学	認定校留学
資 格	○学部生： 1.出発時3年次以上（出願時2年次以上） 2.本学での成績を書類選考の対象とする。在学1ヵ年につき30単位以上修得していること。 ○大学院生： 指導教員の許可を得た者	○学部生： 1.出発時2年次以上 2.在学1ヵ年につき30単位以上修得していること。 ○大学院生： 指導教員の許可を得た者
留 学 先	本冊子P.35以降「協定校紹介」参照	※自身で留学先大学を選択。 ○学部生： 学士号の授与権を有する大学 ○大学院生： 学位の授与権を有する高等教育機関または研究科委員会が特に認めた高等教育・研究機関
募集人員	各大学につき毎年度1～2名（協定校により異なる）	制限なし
費 用	留学先大学の授業料のみ免除（本学の学費は納付） 旅費、宿舍費、生活費などの諸経費は自己負担	全て自己負担。 本学と留学先大学の両方の学費を納付
助 成	留学経費助成制度あり （30万円以内※2009年度実績） ※学内での選考あり（本冊子P.18参照）	留学経費助成制度あり （50万円以内※2009年度実績） ※学内での選考あり（本冊子P.18参照）
手 続	学内選考を経て協定校留学候補生として相手大学に推薦される→相手大学の受入許可→所属学部・研究科の留学許可→留学へ出発	自身で留学希望先の大学・高等教育機関に出願→受入許可を取得→留学願を所属学部・研究科窓口へ提出→所属学部・研究科の留学許可→留学へ出発
外 国 語 能 力	○英語圏の場合は少なくともTOEFL-iBT61点以上が必要。 ※大学・学部により、要求されるスコアが異なる。 ○その他の外国語は適宜審査を行う。	留学希望先大学により異なる ※但し、英語圏の場合TOEFL-iBT61以上を要求する大学であること。
募集期間	※下記は2009年度実績。変更の可能性があるため、国際交流ホームページや掲示板で確認すること。 英 語 圏：10～11月（オセアニアは5～6月） フランス語圏：10～11月（ルノー財団は別途発表） ドイツ語圏：10～11月 中国語圏：10～11月 ロシア語圏：10～11月 その他の語圏：10～11月 韓 国 語 圏：5～6月	留学希望先大学により異なる

■ その他の留学プログラム ■

ルノー財団プログラム ●

ルノー財団プログラムは、フランスのルノー財団と日本の13大学（本学のほか、北大、東北大、東大、名大、京大、阪大、九大、一橋大、東工大、早大、慶大、上智大）との協定に基づき、パリの大学において約1年間留学をします。①パリ国際MBAプログラム、②パリテック修士号プログラムのいずれかのプログラムに応募することができ、協定校留学扱いとなります。プログラムの詳細については、ルノー財団ホームページを参照してください。

【ルノー財団ホームページ】

<http://www.fondation.renault.com/fondation/>

募集期間

毎年7月中旬から9月上旬（変動の可能性有り。）大学院・国際教育センターの掲示板、ホームページに募集要項を掲示。

プログラム内容（抜粋）※詳細はルノー財団ホームページで確認して下さい。

①パリ国際MBAプログラム

期 間：7月から12ヶ月間

7 月：フランス語集中講座、 8 月：ヨーロッパ視察旅行

その後派遣先大学で10ヶ月の受講・研究を行う（4ヶ月間のインターンシップを含む）。

費 用：渡航費・学費・月々の奨学金はルノー財団から支給

留学先：パリ第一大学（パンテオン・ソルボンヌ）とパリ第九大学（ドフィージュ）が連携し、国際マネジメント教育を行う。

②パリテック修士号プログラム

期 間：7月から17ヶ月間

7 月：フランス語集中講座、 8 月：ヨーロッパ視察旅行

その後派遣先大学で15ヶ月の受講・研究を行う（6ヶ月間のインターンシップを含む）。

費 用：渡航費・学費・月々の奨学金はルノー財団から支給。

※パリテック修士号…フランスの11の名門技術系高等教育機関の連合体であるParis Tech（パリテック）が授与する修士号。

応募資格

①パリ国際MBAプログラム

●出発年度の4月に、大学院に在籍する者（ただし、プログラム開始時35歳以下の者）であること。

卒業見込みの学部4年生も応募可能だが、国際教育センターに相談すること。

●TFI550以上あるいはそれと同等以上のフランス語能力を有していること。

②パリテック修士号プログラム

●出発年度の4月に、大学院に在籍する者（ただし、プログラム開始時35歳以下の者）であること。

卒業見込みの学部4年生も応募可能だが、国際教育センターに相談すること。

●工学の分野での学士号を取得した者。（取得見込みの学部4年生も含む）

●TFI550以上あるいはそれと同等以上のフランス語能力を有していること。

選考方法

本学内での書類選考、面接を経た者は、ルノー財団による2次審査（筆記試験及び面接）を受ける。

選考方法

①所定の志願書類（志願書、同意書、留学計画書など）②その他、募集要項に記載される書類



日仏共同博士課程プログラム

このプログラムでは、本学をはじめ日本コンソーシアム協定大学の大学院博士後期課程に在籍する学生をフランスコンソーシアム協定大学へ派遣し、共同論文指導を受けます。このコンソーシアム形式を活用することにより、計画的・継続的な交流が実現し、単独校同士の交流協定では難しい幅広い日仏間の学術交流に資することを目的としています。

【日仏共同博士課程プログラムホームページ】

http://www.meiji.ac.jp/cip/joint_doctoral_pg/index.html

募 集 期 間

11月～翌年1月頃

※変更の可能性があるので、国際交流ホームページや掲示板で確認すること。

応 募 資 格

- ①大学院博士後期課程に在籍する者（外国人留学生を除く）で、日仏共同博士課程フランスコンソーシアムに加盟している大学への留学を希望する者。
 - ②本学およびフランス側受入大学の指導教員により共同して研究指導を受ける協力体制が整っており、かつ、研究科委員会、大学院委員会で推薦される者。
 - ③博士課程全体の研究計画と留学中の研究計画の関連性が明確であり、留学により十分な成果が期待できる者。
 - ④受入大学における受入承諾を得ている者。
 - ⑤留学の全期間中、本学の学籍を保持できる者。（休学者を除く。）
 - ⑥原則として、派遣時に博士課程2年次に在籍する者。
 - ⑦留学期間終了後、本学に戻り学業を継続する者又は本学の学位取得を目的とする者。
 - ⑧心身共に健康である者。
 - ⑨「出入国管理及び難民認定法」別表第1に定める「留学」の在籍資格により滞在する外国人留学生でない者。
 - ⑩過去に日本学生支援機構の短期留学推進制度（派遣）を利用して、諸外国の大学へ留学をしたことのない者。
 - ⑪他団体等から留学のための奨学金を受ける場合、当該奨学金の支給月額合計が8万円を超えない者。
- ※⑩及び⑪は日本学生支援機構による奨学金支給が次年度も継続した場合のみ適用。

選 考 方 法

- ①学内での書類選考
- ②書類選考により推薦順位を付して日本コンソーシアムに推薦
- ③日本コンソーシアムが別に定める選考基準により派遣候補者を決定

提 出 書 類

- ①所定の志願書類（志願書、同意書、留学計画書など）
- ②その他、募集要項に記載されている書類

3

留学に向けた計画と準備

協定校・認定校留学問わず、留学には十分な準備が求められます。留学の準備は、具体的な出願手続きも含めて留学出発の約1年半以上前から始めることをお勧めします。留学に関する情報収集や各種能力試験の受験準備など、できるだけ早い時期からとりかかり、出願直前に焦ることのないようにしましょう。

STEP 1-1

明確な目的の確立

「留学したい!」と考え始めたら、まず「留学の目的を明確化」しましょう。外国への留学は、語学力の向上、国際感覚の養成、複眼的なものの見方の獲得、異文化の理解等その効果は大きい反面、肉体的・精神的な面で大きな負担がかかります。それだけに、憧れだけで留学をとらえるのではなく、

「なぜ自分は留学をしたいのか？」

「何のために留学するのか？」

「留学先で何をしたいのか？」

「留学をして将来何をしたいのか？」

というように自問自答し、自分なりの留学目的を作り上げて下さい。

留学中は、言語上の問題はもちろん、風土・習慣や文化の違いからくるストレス等様々な課題に直面します。留学の目的・目標をしっかりと持つことは、これらの苦勞を克服する大きな要素であるとともに、より高い留学成果を上げるための重要な基盤であるといえます。目的をはっきりさせ、帰国後及び卒業後の将来設計についても十分検討しながら、留学計画を立てましょう。

STEP 1-2

留学情報の収集

留学に関する正確な情報を得て、それに基づき自分にあった学校を選びましょう。情報収集の際には、必ず「オリジナルの情報源」から最新情報を得よう心掛けてください。大学のことを知るには、各大学のホームページが重要な情報源です。提供されている授業、学内外周辺の環境、宿舍の情報など、大部分の情報を入手することができます。国によっては在日大使館のホームページ上で留学情報を提供している場合があります。また、指導教授等、受講している授業の先生に積極的に相談することも重要です。

ビザ取得の手続や現地の治安に関する情報収集については、在日各国大使館のホームページ、外務省が提供している海外安全情報などを参考にして下さい。

STEP 1-3

留学先の選定

留学しようとする大学の選定にあたって考慮すべきポイントは、①学びたい分野、②国・地域・気候、③留学時期・期間、④大学の特徴・規模・施設及びその地域の環境・留学生数、⑤学費その他の必要経費、⑥要求される能力（成績・語学力等）などがあり、項目ごとに各大学を比較してみましょう。特に重要な点は、その大学の学科や設置科目の内容が、自分の専攻分野や関心に見合ったものであるかということです。各大学のホームページや大学案内（Catalog、Bulletin等）で、設置科目やその内容を細かく調べましょう。これは根気のいる作業ですが、大変勉強になり、またこうした過程のなかで留学に対する意欲も高揚してくることでしょう。

STEP 1-4

留学時期の決定

2～3年次に留学した場合は、留学期間を含めて4年間で本学を卒業できる道が開かれています。4年次に留学した場合は卒業が延びるということを念頭に置かねばなりません。卒業後の進路やこれまでの学習状況等を勘案して、無理のない計画を立てることをお勧めします。

また、留学しようとする場合、日本と外国との学年暦の違いが一つの障害になります。本学では、「継続履修制度」（本冊子P.17参照）により、履修上のすき間が生じないよう調整することができます。所属学部・研究科にて履修制度等の確認をしっかりと行って下さい。

英語圏の多くの大学では通常8～9月が年度開始時期となっており、この時期から留学を開始するのが一般的です。年度初めにオリエンテーションがあることや学習環境への適応を考えると、この時期に合わせる事が適当であると言えるでしょう。これらの国では学期毎に科目が完結するケースが多く、修得した単位数に応じて進級していくので、基本的には学期毎に入学できるシステムになっています。（留学生に対しては年度始めの入学だけに制限している場合もあります。）

韓国、オーストラリアなど地域によっては2～3月が年度初めとなり、本学の学年暦とも大きな差異がありません。このような地域へ4年次に留学した場合は4年間での卒業の可能性もありますが、帰国してすぐに卒業となるので、留学前に、単位修得の条件等を必ず所属学部・研究科に相談するとともに、就職、大学院進学など卒業後の計画を綿密に立て、準備をしておく必要があります。

STEP 1-5

語学力の向上

十分な語学力があるということは、留学するための大前提です。留学先では現地の学生とともに講義を受け、授業中には頻繁に討論を交わします。また、予復習や宿題として日々多量の教科書や参考書を読みこなし、課されたレポートを書かなければなりません。そのため、日常会話能力に加え、自身の学問分野に関する専門的な語学力が要求されます。

語学力は一朝一夕に身につくものではありませんから、地道な勉強が必要です。本学に設置されている外国語講座や視聴覚教材を大いに利用しつつ、あらゆる機会を使って語学力を高める努力をしてください。

また、日頃から留学先国の政治、経済、文化等について知識を深めておくことが望まれます。留学先において人々と会話をしたり、講義を理解する上でも、単に語学力のみならず言語の背景にある文化・社会全般についての幅広い知識が必要となります。

英語圏への留学の場合、通常はTOEFLを始めとする英語能力試験のスコアの提出が必須となります。また、それに加えて適正能力試験の受験を要求されることもあります。自分が出願しようとする大学が、どのテストの受験を義務付けているか、また何点以上のスコアを出願の基準としているのかを事前にホームページなどで調べ、受験プランを立てて下さい。（協定校留学希望者は、前年度の出願条件を参考にしてください。本冊子P.35参照）受験準備は大学選びや願書請求と並行して、あるいはそれ以前から始める必要があります。

■TOEFLとは

TOEFL（Test of English as a Foreign Language）は、英語を母国語としない人々の英語力を測る、世界各国で実施されている英語テストで、米国の非営利教育団体であるETS(Educational Testing Service)が実施しているものです。TOEFLのスコアを交換留学や長期留学の出願条件としている英語圏の大学は多く、留学を希望する人は、志望大学が要求しているスコアを満たす必要があります。TOEFLにはTOEFL-iBT(Internet Based Testing)、TOEFL-PBT(Paper Based Testing)、TOEFL-CBT(Computer Based Testing)に加えて、団体むけのTOEFL-ITP(Institutional Testing Program)がありますが、現在日本において定期的に受験できるのはTOEFL-iBTのみです。iBTはSpeaking, Writing, Listening, Readingの4セクションで構成され、スコアは2年間有効。

詳細についてはTOEFL事務局のホームページにて確認してください。

☆ TOEFLに関する問い合わせ先 ☆

国際教育交換協議会（CIEE）日本代表部 TOEFL事業部

Tel：03-5467-5489

URL：http://www.cieej.or.jp/toefl/toefl/index.html

■ IELTSとは

IELTS(International English Language Testing System)は、主にイギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドで英語を母国語としない人々の英語力を審査するために用いられているテストで、日本においては、英国の公的な国際文化交流機関であるブリティッシュ・カウンシルと、(財)日本英語検定協会により共同運営されています。IELTSにはアカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニングモジュールの二種類があり、大学や大学院等高等教育機関での留学を目指す人は、アカデミック・モジュールを受験する必要があります。試験はリスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4つから成り、各試験の合計点をもとに、1～9段階のスコアで評価されます。詳細については以下のホームページにて確認してください。

☆ IELTSに関する問い合わせ先 ☆

ブリティッシュ・カウンシル

Tel：03-3235-8031

URL：http://www.britishcouncil.org/jp/japan-exams-ielts.htm

(財)日本英語検定協会

Tel：03-3266-6852

URL：http://www.eiken.or.jp/ielts/index.html

STEP I-6

学力の向上

十分な留学成果を収めるには、その裏付けとなる基本的な学力が備わっていることが必要です。留学先大学の入学許可の可否には、本学における成績が考慮されます。また、授業・ディスカッション・レポート等の留学中の勉強にも、それまでに蓄積された学力が大きくものをいうことになります。さらに、海外の大学では授業中の発言や積極的な参加態度も評価対象となりますので、知識を増やすのみならず、自分の意見を持ち、発表することを日頃から心掛けましょう。

STEP I-7

留学資金計画

学力、語学力と並んで重要なことは、留学経費をまかなうことのできる経済力です。留学費用の大きな柱は授業料と生活費（部屋代・食費等）で、このほかに往復渡航費、教材費、保険代、雑費などが加わります（協定校留学の場合は留学先大学の授業料免除。）経費は、国及び地域、大学（公立・私立の別も含む）、住居や食事の形態（学生寮・アパート、外食・自炊等）によって異なりますが、安いところで1年間に約150万円、高いところでは300万円以上かかります。

留学経費の負担者が誰であろうと、それを負担できる経済力を証明できないと留学先大学の入学許可及び

留学費用の目安

アメリカ留学(オレゴン大学学部留学生の場合)

[参考URL]

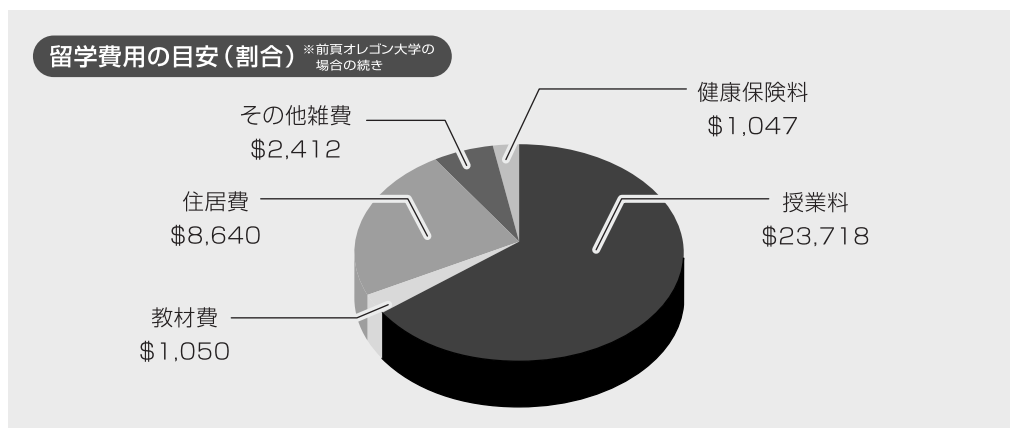
http://admissions.uoregon.edu/international/int-costs.html

授業料	\$23,718
教材費	\$1,050
住居費	\$8,640
その他雑費	\$2,412
健康保険料	\$1,047
合計	\$36,867

(2009-2010年実績)

ビザが発行されないことがあります。一般的には本人や家族の銀行の残高証明書や奨学金の受給証明書を提示する必要があります。

こうしたことを念頭に、綿密な財政見通しを立ててください。なお、本学の留学制度を利用する場合は、留学経費助成金を申請することもできます（本冊子P.18参照）。



※協定校留学の場合、授業料は免除されます。

STEP 2

留学先の資料収集 （願書請求等）

※協定校留学希望者は、本学内の選考に応募する必要があります。本冊子P.35以降の各協定校の過去の出願条件を参照して下さい。

留学先大学を絞ったら、早めに直接志望校へ願書を請求します。入学希望時期の約1年前には行いましょう。

多くの場合、大学のホームページ上で願書や資料をダウンロードできるようになっています。もしダウンロードできない場合は、オンラインや手紙で請求を行います。手紙は手書きよりもパソコンで作成するのが望ましく、学歴、入学希望時期、レベル（学部か大学院か）、希望専攻分野、留学必要経費を負担する財政能力がある旨など自分自身のデータを明記し、サインをして郵送します。先方から返事がなく、期日が迫っている場合は、逐次電話等で問い合わせるようにしましょう。

STEP 3

出願手続き （アメリカの場合）

※協定校留学者は、学内選考に合格した後、国際教育センターを通じてこの手続きを行います。

願書が到着したら、書類や資料を熟読のうえ、パソコンでのタイプ、あるいは手書きブロック体で必要事項を記入し、提出を求められている各種書類を添えて、発送を追跡できる郵送方法（EMSや書留など）で志望校へ送ります。その際、紛失等のトラブルに備えて全ての書類のコピーをとっておくとともに、発送日を控えておくことが大切です。また、出願締切日を確認しておくことは当然ですが、締切間際よりも、余裕をもった提出が望ましいでしょう。

出願書類について、以下にアメリカの場合を例に説明します。※大学によって求める書類が異なるので、各大学の指示に従ってください。

（1）成績証明書（Transcript of Academic Record）

本学の英文成績証明書が必要です。高校の成績証明書を求められることもありますが、その場合は出身高校に作成をお願いしてください。

（2）卒業証明書（Certificate of Graduation）

提出を求められた場合には、英文のものを用意します。

(3) 健康診断書 (Health Certificate)

所定の用紙がある場合とない場合がありますが、英文診断書を扱う医療機関で健康診断を受診し、作成してもらって下さい。診断書には医師のサインや病院の印章が必要です。

(4) 財政能力証明書 (Statement of Financial Support)

留学経費（学費・生活費等）を賄う財政能力があることを証明するもので、これがないと入学が許可されない場合があります。また、入学が許可された場合でもビザが発行されない場合があります。必要経費は、志望先大学のホームページ等に見積り額が示されていることが多く、その額を負担できることを証明する必要があります。通常、銀行で英文の預金残高証明書を作成します。なお、これはビザ申請をする際にも必要になる場合があるので、余分に取っておくとよいでしょう。

(5) 推薦状 (Letter of Recommendation)

推薦状を誰に何通依頼するかは、志望大学の指示に従いますが、一般的に2、3通が必要とされます。自身の学習状況や人格をよく知る人物による、具体的な内容のものが望ましいので、履修中或いは過去に履修した授業の担当で、留学の相談等をしたことのある先生に作成をお願いしてみるといいでしょう。その際、推薦状に盛り込んで欲しい内容や自分のセールスポイントを伝えておくことも大切です。なお、国際教育センターでは推薦状の発行は行っていません。

(6) エッセイ (Essay)

自己紹介文のようなもので、特に志望動機、何を勉強したいのかを明記することが大切です。これまでの体験や将来の目標等にも触れながら具体的に書きましょう。審査の対象となる重要なものですから、内容はもちろん、論理構成、語句など十分に練って書いてください。日本語と英語では、文章の書き方のポイントが異なるので、先生に相談をしたり、市販されているエッセイ執筆のための参考書も活用することをお勧めします。エッセイが完成したら、第三者にも目を通してもらい、最後はネイティブチェックを受けるようにしましょう。

(7) 各種能力試験の証明書

TOEFLをはじめとする英語能力試験（本冊子P.67～P.70参照）、及び提出を要求されている場合は、その他の能力試験のスコア。

(8) 申請手数料(Application Fee)

多くの大学が申請手数料を要求します。クレジットカード、ドル建ての小切手、国際郵便為替等を利用して支払います。

STEP 4**入学許可証の到着**

願書を提出して2～3ヶ月後に審査の結果が通知されます。合格通知が届いたら、本当に入学したい大学かを再吟味し、速やかに希望大学へ入学意志がある旨を連絡します。入学を希望しない大学には必ず入学辞退の手紙を出すのがマナーです。（協定校留学は、1校のみの出願であるため、この手続きは不要です。）出願した大学から通知がない場合は、問い合わせましょう。合格通知と併せてビザ申請に必要な書類も含まれているので、取扱に注意して下さい。



STEP 5

その他必要手続き

入学許可証と一緒にあるいは前後して学生寮の申込書や健康保険の案内、オリエンテーションの案内その他の情報が送られてきます。寮に滞在する場合は、早めに申し込みを済ませましょう。先着順の場合もあるので、出願の段階で確認が必要です。入学許可証到着を待たずに寮の申込ができたり、願書と同時に入寮申込書を出せる大学もあります。入学許可証到着後も申込書が送られてこなかったら、大学のHousing Officeに連絡を取るようして下さい。

STEP 6

奨学金情報の収集

奨学金は以下の通りに大別できます。

- (1) 日本政府機関によるもの
- (2) 日本の地方自治体によるもの
- (3) 外国政府機関によるもの
- (4) 日本の民間団体によるもの
- (5) 外国の民間団体によるもの
- (6) 外国の大学独自のもの

〈奨学金に対する情報の入手先〉

- 留学希望国の在日大使館及び文化機関等
- 独立行政法人日本学生支援機構
- 明治大学国際教育センター

※独立行政法人日本学生支援機構では「海外留学奨学金パンフレット」を配布しています。パンフレット希望者は同機構まで問い合わせをしてください。(本冊子P.71参照)



4

留学に係る学内手続きについて

協定校留学、認定校留学制度を利用して海外留学する場合、以下に述べる一連の学内手続きが必要になります。この手続きを怠ると留学の認定、単位の認定等で問題が発生しますので、くれぐれもご注意ください。

1 所属学部・研究科へ留学願の提出

留学先大学の入学許可証を受け取ったら、次の添付書類を含む留学願を所属学部・研究科窓口に提出します。各学部・研究科によって提出書類は異なります。書類は各学部・研究科窓口で入手して下さい。

- (1) 留学願（所定用紙）
- (2) 留学先大学の入学・受入許可書の写し（学部生は正規課程への入学に限る。）
- (3) 履修（研究）計画書（所定用紙）
- (4) 留学先大学の便覧、講義要項またはそれに準ずるもの
- (5) 留学に係わる資金計画書（所定用紙）
- (6) 継続履修願（所定用紙）
- (7) その他学部長・研究科委員長・研究科長が指定するもの
 - ①保証人の留学同意書（所定用紙）
 - ②語学能力証明書（英語圏の場合。英語以外の外国語については適宜学内審査を行います。）
 - ③その他学部・研究科の指定する書類

なお、上記（2）の入学許可証は、証明書のような形で出るとは限らないので、先方からの手紙・通知等をいつでも提出できるようにしておいてください。

2 書類の提出時期

留学時期は留学先国その他の事情によって異なるため、留学願の提出について特に定められてはいませんが、所属学部・研究科に事前に相談をして提出するようにして下さい。夏・春期休暇にかかる場合は、その間も計算に入れて余裕をみておきましょう。但し、国によっては入学許可書の到着が遅いこともあるため、事前に各学部・研究科に相談し、入学許可書が到着次第すぐに手続きをして下さい。また、留学を考えている大学に出願した段階で所属学部・研究科に相談することが重要です。

☆学内事務手続の流れ

- (1) 書類提出……所属学部・研究科へ必要書類を提出
- (2) 学部・研究科による審査……提出された書類により、留学の可否を教授会・研究科委員会が審査（面接を行う場合もある）
- (3) 審査結果通知……本人に留学の可否を通知
- (4) 留学指導……留学先での履修・研究指導等（継続履修願）を所属学部・研究科に提出
- (5) 「留学経費助成願」の提出……所属学部・研究科に提出（任意）
- (6) 留学へ出発

3 留学中の連絡先

- (1) **住所の連絡**・・・出発までに留学先での住所が決まらず、本学に知らせていない場合は、正確な住所が決まり次第、所属学部・研究科に連絡しましょう。留学中に住所を変更した時も同様です。履修等の連絡で必要になる場合があります。
- (2) **学習状況報告**・・・必要に応じて留学先での学習状況を所属学部・研究科、また、留学の相談をしている指導教授等に連絡しましょう。連絡方法については、留学手続の際に所属学部・研究科の指示を受けてください。

4 帰国後の手続き

(1) 帰国報告書の提出

帰国後、すみやかに所属学部・研究科に口頭で帰国報告をするとともに、以下の書類を受け取り、提出して下さい。

- ①帰国届
- ②単位（研究指導）認定願
- ③留学先大学の正式な成績証明書または指導教員の研究指導報告書
- ④留学先大学での履修科目の単位数、時間数、成績評価基準を示す文書・資料
(Course Description、Catalog、Bulletin、Prospectus等)
- ⑤その他単位認定の補助となる書類
- ⑥その他提出を指定された文書・資料

提出された書類を基に、留学先で修得した単位・研究指導の認定を行います。Syllabusや留学先で書いたレポートやエッセイ等、単位認定の補助となり得るものは全て保存し、持ち帰るようにしてください。

(2) その他

就職指導、奨学金受給復活（留学による中断がある場合）、資格課程など、関連する事務室に出向き、必要な手続を済ませてください。また、留学準備のためにお世話になった関係者にも、帰国のあいさつを忘れずして下さい。

特に帰国後就職活動を予定している場合は、留学前・帰国後ともに就職・キャリア支援事務室に出向き、就職活動に関わる相談をするとともに、就職の手引き等も参照するようにして下さい。

【参考】明治大学就職・キャリア支援事務室 <http://www.meiji.ac.jp/shushoku/>



5

留学先への渡航準備について

1 留学先大学との連絡

留学先大学から送られてきた手紙や資料、パンフレットを熟読し、オリエンテーション等のスケジュールがわかったら、キャンパス及び周辺に慣れるためにも何日か余裕をもった渡航計画を立てます。

また、入寮可能日を把握する必要があります。入寮日以前に到着する場合は、特別に実費で寮に泊まる、大学軒先のホームステイをする、自身でホテルを手配する等の必要があります。

また、渡航日が確定したら、フライトスケジュール（到着日、時間、到着空港、航空便等）を留学先大学へ連絡して下さい。大学によっては、空港で出迎えをしてくれるところもあります。

2 パスポート(旅券)、ビザ(査証)の取得

(1) パスポートの取得：

パスポートを取得するには、住民登録をしている都道府県庁の旅券取扱窓口に、必要書類を添えて申請します。通常、申請してから発給まで1週間程度（土・日・祝日・年末年始等除く）かかります。受領方法は、申請時に窓口で確認してください。パスポート申請については次のホームページを参考にして下さい。http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/

(2) ビザ(査証)の取得：

留学ビザの取得には様々な書類の提出を求められます。留学を本格的に考え始めた時点で、留学先国の在日外国公館ホームページ等で情報を収集し、必要書類などを確認してください。また、大使館の査証部窓口は業務取扱時間が限られているので注意してください。

3 航空券の購入

航空券は旅行代理店または航空会社のカウンター等で購入できます。割引運賃による航空券の場合、正規価格よりも安価な場合が多いようです。航空会社、搭乗時期、経由地、有効期間等により価格に幅がありますが、正規価格チケットと異なり、払い戻し、途中立ち寄り、ルート変更等に制限があるので、購入の際は充分注意してください。行き先によっては、便のある曜日が限られています。特に8月等の旅行シーズンに渡航する場合は、早めに航空券を手配した方がいいでしょう。

4 外貨購入・送金手続

留学中の費用の持参・調達の方法は留学先やその人によって異なりますが、現金持参、トラベラーズチェック、クレジットカード、日本からの送金（銀行振込や小切手の送付）等が考えられます。

外貨現金・トラベラーズチェックは外国為替取扱銀行で購入できます。クレジットカードは身分証明にもなり便利ですが、紛失や使い過ぎ、カード犯罪等には充分に注意する必要があります。紛失に際してすぐに届け出ることができるように、カード会社やトラベラーズチェック発行会社の緊急連絡先は手帳などに記録することをお勧めします。

5 健康状態のチェック・保険の加入

出発前に必ず健康診断等を受け、治療を要するものについては出発前に済ませるようにして下さい。特に歯の治療は保険が効かず、欧米では治療費が高いため、日本で済ませておきましょう。医療保険については、留学先大学の指定する保険（強制加入あるいは任意加入）もありますが、渡航前に、留学の期間中に適用される海外旅行傷害保険に加入しておくことを強くお勧めします。また本学内で行われる定期健康診断は必ず受診してください。



6 公的手続き

長時間日本を離れることになるので、各自治体に出向いて住民票、健康保険、国民年金等の手続を行うようにして下さい。手続方法については各自治体に直接問い合わせて下さい。



6

留学中に心がけたいことについて

1 到着直後—留学生担当部署への連絡

到着後、直ちに留学生担当部署(International Student Office等)に行き、到着の報告をするとともに、留学生生活に必要な指示を受ける必要があります。そのため、なるべく担当部署の開いている平日に到着することをお勧めします。担当者には、以後の留学生生活のなかでも分からないことや困ったことがあれば、すぐに相談をするようにしてください。

2 科目履修、授業等について

(1) 履修科目の登録

大学によっては、科目選択や学習上の助言、指導をしてくれるAcademic Adviserがいます。現地で配布されるコース案内やコーススケジュール表を基にAdviserと相談しながら履修科目を決めることになります。

履修登録方法、履修費用等については、オリエンテーション期間中に案内されますが、不明な点はAcademic AdviserやInternational Student Adviserに質問して下さい。

なお、大学への出願書類を作成する際に、履修希望科目を記入する場合もあり、この内容によって履修科目が渡航前に決定されている場合もあります。

(2) 授業形態

最初の講義の際、担当教員よりシラバスという授業進行計画表が渡されることが一般的で、ここには講義の内容、教科書・参考書の案内、試験方法、レポート、成績評価の基準等が記されており、それによって学習スケジュールを立てることになります。

講義は通常、教室内での討論や質疑応答を交えて進められることが多く、学生が十分予習して授業に臨むことが前提になります。そのため、予習として大量の課題図書・参考図書を読んでおくこと(Reading Assignment)が求められます。

リーディング以外にもレポートやエッセイの提出が学期中数回課されることがあり、試験も中間試験、期末試験に加えて小テスト、が適宜課されます。成績の評価方法も各国・大学により異なるので、大学のホームページなどを読み、よく理解しておきましょう。

〈授業に向けての準備〉

次の点に留意して留学前から準備することをお勧めします。

- ①読解の訓練。留学生にとって、外国語で書かれた教科書を読みこなすことは最大の難関です。日頃から様々な文章に触れて、多読を積み重ねてください。最初はインターネットなどに載っている短い文章から始め、徐々に長い文章を読んでいくのも一つの方法でしょう。
- ②専攻に関する参考書を日本語および留学先言語で幅広く読み、少しでも多くの知識をつけておく必要があります。
- ③留学先国の言語によって、レポート、論文の書き方などには様々なルールがあります。レポートの書き方を記した参考図書を利用し、知識を得てください。ルールに則って書いているかどうか、成績に反映されます。
- ④パソコンを活用できることは必須です。メールはもちろんのこと、レポートやエッセイは通常タイプで提出しなくてはなりません。

(3) 図書館の利用

留学中は、図書館中心の生活になるといっても過言ではありません。図書館を上手に使いこなすことは留学を成功させる秘訣の1つです。年度始めのオリエンテーション期間中に図書館利用案内があることが多いので出席するとともに実際に足を運んで利用に慣れましょう。

3 健康維持と危機管理について

(1) 健康維持

留学を成功させるには、心と体の健康が第一条件です。食事や生活様式の違いから体調を崩してしまうと、せっかく希望に満ちて始まった留学生活が台無しになってしまいます。日本とは全く違う環境において生活をするのですから、日本にいるとき以上に体調管理には留意しましょう。

長期にわたって海外で生活する場合、カルチャーショックやホームシックに悩んだり、外国語での厳しい勉強を目の当たりにして強いストレスを感じたりすることがあるかも知れません。こうした反応は誰にでも起こりうることです。

そうした場合には、趣味やリラックスの時間を積極的に作ったり、スポーツで汗を流したりするなどして工夫をしてみましょう。悩みが解決しない場合は自分ひとりで抱え込まず、早めに留学先の担当者や、家族・友人に相談することが大切です。

(2) 危機管理

留学生活に慣れて気が緩むと、事故や事件に巻き込まれる可能性が高くなります。キャンパス内においても事件は起こり得ます。貴重品の管理には常に注意すると共に、図書館で勉強して帰りが遅くなる場合も、一人で夜道を歩くような行為は絶対に避けましょう。また、テロや自然災害、感染症は本人の注意に関係なく起こります。留学直後に限らず、留学中は常に危機管理意識を持って生活して下さい。留学先の治安や医療事情の最新情報は外務省のホームページで確認することができます。

①外務省海外安全ホームページ

<http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>

②外務省ホームページ 世界の医療事情

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/>



7

協定校紹介

※協定校留学出願条件は2009年度実績に基づいています。これらの条件は予告なく変更になる場合があるので、必ず当該年度の学内募集時期に国際交流ホームページや掲示板等で公開される募集要項で確認して下さい。

※大学の最新詳細情報については各大学ホームページで必ず確認をして下さい。

1. 米国・カナダ・オーストラリアの協定校..... P.35
2. 欧州の協定校 P.40
3. その他の地域の協定校 P.47
4. アジアの協定校 P.49



アメリカ

UNIVERSITY OF OREGON

オレゴン大学



大学概要

オレゴン州のユージン市に位置する州立大学。1876年創立。アメリカ北西部では先端的研究大学の一つとして認められている。

所在地 Eugene, OR 97403

URL <http://www.uoregon.edu>

留学期間 9月から最大1学年間

対象 学部生、大学院生

言語 英語

学年暦 3学期制...1学期：9月初旬～12月中旬
2学期：1月初旬～3月下旬
3学期：3月下旬～6月中旬

協定校
留学出願
条件

学部生：TOEFL-iBT61以上
(Architecture希望者はTOEFL-iBT90以上、Business希望者はTOEFL-iBT89以上)
大学院生：TOEFL-iBT88以上(但し、学科によって異なるため参考URLで確認すること。)

募集人数 1～2名

参考URL <http://international.uoregon.edu/exchange>
大学院生：
<http://gradschool.uoregon.edu/?page=gradProgramInfo>



アメリカ

THE UNIVERSITY OF IOWA

アイオワ大学



大学概要

アイオワ州アイオワシティに位置する州立大学。1847年創立。30,000人の学生が在籍し、そのうち留学生は約2,400人。

所在地 1111 University Capitol Centre, Iowa City IA 52242-5500

URL <http://www.uiowa.edu>

留学期間 9月から最大1学年間

対象 学部生、大学院生

言語 英語

学年暦 2学期制...秋学期：8月下旬～12月中旬
冬学期：1月中旬～5月中旬

協定校
留学出願
条件

学部生：TOEFL-iBT71以上(但し、College of LawはTOEFL-iBT92以上)
大学院生：TOEFL-iBT81以上
※渡航時までにTOEFL-iBT100のスコアを提出できない場合には、現地に到着後英語能力試験を受験する。試験結果により、専門授業と並行して語学授業履修を義務付けられる場合がある。

履修の注意 Tippie College of Businessは交換留学生の受講が制限されている。

募集人数 1～2名

参考URL <http://international.uiowa.edu/exchange/application.asp>



アメリカ

SOUTHERN ILLINOIS UNIVERSITY
AT CARBONDALE

サザンイリノイ大学 カーボンデール校



大学概要

1869年にイリノイ州で2番目の教師養成学校として設立された州立大学。
広大なキャンパスに175の学科を擁する。

所在地

Southern University at Carbondale,
Carbondale IL 62901-6899

URL

<http://www.siu.edu/>

留学期間

9月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

英語

学年暦

2学期制…秋学期：8月下旬～12月中旬
冬学期：1月中旬～5月中旬

協定校
留学出願
条件

学部生：原則としてTOEFL-iBT75以上
大学院生：TOEFL-iBT80以上（但し、学科によってはこれ以上のスコアを要求される。詳細は参考URL参照へ。）

履修の注意

Medical, Law School, College of Applied Arts and Sciences
は交換留学生履修不可。

募集人数

1～2名

参考URL

大学院生：
<http://www.siu.edu/gradschl/admit-international.htm>



アメリカ

THE STATE UNIVERSITY OF
NEW YORK AT NEW PALTZ

ニューヨーク州立大学 ニューバルツ校



大学概要

マンハッタンから電車で90分ほどの人口1万人にも満たないニューバルツ市にある。
1828年創立で学生数は約10,000人。広大なキャンパスに豊富な自然と歴史ある建造物が調和している。

所在地

1 Hawk Drive, New Paltz NY 12561

URL

<http://www.newpaltz.edu/>

留学期間

9月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

英語

学年暦

2学期制…秋学期：8月下旬～12月下旬
冬学期：1月中旬～5月下旬

協定校
留学出願
条件

学部・大学院生：原則としてTOEFL-iBT75以上

募集人数

1～2名



アメリカ

THE UNIVERSITY OF ALABAMA

アラバマ大学



大学概要

1831年にアラバマ州初の公立大学として設立された。約25,000人の学生が在籍し、うち約1,000人が留学生。
200に渡る分野で授業を提供している。

所在地

Tuscaloosa, AL 35487, U.S.A.

URL

<http://www.ua.edu/>

留学期間

8月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

英語

学年暦

2学期制…1学期：8月中旬～12月下旬
2学期：1月上旬～5月中旬

協定校
留学出願
条件

①学部生：TOEFL-iBT61以上
大学院生：TOEFL-iBT80以上（但し、学科毎に設定された全ての条件を満たしていること。詳細は参考URLへ。）
②GPA3.0以上

履修の注意

授業毎に履修条件が異なるのでアラバマ大学ウェブサイトを参照すること。
<http://catalogs.ua.edu/>

募集人数

1～2名

参考URL

http://graduate.ua.edu/application/instructions_int_deg.html





アメリカ

MISSOURI STATE UNIVERSITY

ミズーリ州立大学



大学概要

1905年に、師範学校として設立された。現在では、ミズーリ州で2番目に大きな大学となり、学部レベルの専攻は150、そして47の大学院プログラムを有する。

所在地

901 South National Avenue, Springfield, Missouri 65897

URL

<http://www.missouristate.edu/>

留学期間

8月から最大1学年間

対象

学部生のみ

言語

英語

学年暦

2学期制…1学期：8月下旬～12月下旬
2学期：1月中旬～5月中旬

協定校
留学出願
条件

①TOEFL-iBT61以上（但し、ReadingとListeningが15点以上、Writingが13点以上であること。）
②GPA3.0以上

履修の注意

Physical Therapy, Athletic Training, Communication Sciences and Disorders, Physician Assistant Program, Sports and Medicineは交換留学生履修不可。

募集人数

1～2名



アメリカ

NORTHEASTERN UNIVERSITY

ノースイースタン大学



大学概要

米国マサチューセッツ州ボストンの市街地に立地する都市型大学の一つで、2008年度のUS News誌の全米ベスト100のランキングで96位に位置づけられる研究型大学。

所在地

360 Huntington Ave., Boston, Massachusetts 02115

URL

<http://www.northeastern.edu/neuhome/index.php>

留学期間

8月から最大1学年間

対象

学部生のみ

言語

英語

学年暦

2学期制…1学期：8月～12月
2学期：1月～5月

協定校
留学出願
条件

①TOEFL-iBT79以上またはTOEFL-iTP550以上であること。
②GPA3.0以上

履修の注意

授業毎に履修条件が設定されており、履修にあたってはその条件を満たす必要があるため、各自ホームページで確認をすること。
参考：<http://www.neu.edu/registrar>

募集人数

1～2名



カナダ

YORK UNIVERSITY

ヨーク大学



大学概要

1959年にトロント大学の一組織として設立され、1965年にヨーク大学として独立（州立）。トロント市郊外に位置し、広大なキャンパスを有する。

所在地

4700 Keele Street, Toronto ON M3J 1P3

URL

<http://www.yorku.ca>

留学期間

9月から1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

英語

学年暦

2学期制…秋学期：9月初旬～12月下旬
冬学期：1月初旬～5月上旬

協定校
留学出願
条件

①学部生：TOEFL-iBT83以上
大学院生：学科によって異なるため参考URLで確認すること。
②大学院生は、学部時・大学院での成績がGPA3.0以上であること。

履修の注意

*Atkinson Faculty of Liberal and Professional Studies, Business Administration, Schulich School of Business, Law, Fine Arts, Computer Science, Political Science(Graduate)は交換留学生の履修不可。

募集人数

1～2名

参考URL

<http://international.yorku.ca/exchange/incoming/incoming.htm>



カナダ

UNIVERSITY OF ALBERTA

アルバータ大学



大学概要 アルバータ州の州都、エドモントンに位置する1906年創立の州立大学。カナダ屈指の名門大学であり、特に医療薬理系で評価が高い。留学生も多く受け入れており、英語教育には定評がある。

所在地	114 Street 89 Ave, Edmonton Alberta T6G 2E1	協定校留学出願条件	学部生：TOEFL-iBT81以上 大学院生：TOEFL-iBT86以上
URL	http://www.ualberta.ca	履修の注意	Medicine, Dentistry, Pharmacy, Criminology, Computer Engineering, Courses called BUS201, School of Businessは交換留学生の履修不可。
留学期間	9月から1学年間	募集人数	1～2名
対象	学部生、大学院生		
言語	英語		
学年暦	2学期制…秋学期：9月初旬～12月中旬 冬学期：1月初旬～4月下旬		






カナダ

UNIVERSITÉ DE MONTRÉAL

モントリオール大学



大学概要 ケベック州のモントリオール市に位置する総合大学。フランス語圏の大学としては、フランスのバリ大学について世界2番目の規模を誇る。

所在地	3744 rue Jean-Brillant, Montréal QC H3T 1P1	協定校留学出願条件	中級以上のフランス語能力を有すること。
URL	http://www.umontreal.ca	履修の注意	英語での講義は有料。法学部は交換留学生の履修不可。
留学期間	9月から1学年間	募集人数	1～2名
対象	学部生、大学院生	参考URL	http://www.international.umontreal.ca/echange/cap-udem/guide english.htm
言語	フランス語		
学年暦	2学期制…秋学期：9月初旬～12月下旬 冬学期：1月初旬～4月下旬		





カナダ

DALHOUSIE UNIVERSITY

ダルハウジー大学



大学概要 1818年創立。約15,000人の学生が在籍。うち、1,200人を世界100カ国以上から集まった留学生が占める。180に渡る分野で3,600以上の授業を提供する。

所在地	6299 South Street, Halifax NS, B3H 4H6, Canada	協定校留学出願条件	TOEFL-iBT100以上又はIELTS7.0以上
URL	http://www.dal.ca/	履修の注意	Engineering, Architecture and Planningなどは交換留学生の受講が制限されている。
留学期間	9月から最大1学年間	募集人数	1～2名
対象	学部生のみ		
言語	英語		
学年暦	2学期制…1学期：9月上旬～12月中旬 2学期：1月上旬～4月下旬		





オーストラリア

THE UNIVERSITY OF ADELAIDE

アデレード大学



大学概要

オーストラリア南部の南オーストラリア州の州都であるアデレードに位置する国立大学。
1874年創立。

所在地 The University of Adelaide, SA 5005

URL <http://www.adelaide.edu.au/>

留学期間 3月から最大1学年間

対象 学部生、大学院生

言語 英語

学年暦 2学期制…1学期：3月上旬～7月上旬
2学期：7月下旬～11月下旬

協定校
留学出願
条件

①TOEFL-iBT80以上 (Writing・Speaking20、Reading・Listening18以上)、またはIELTS6.0以上 (Writing及びSpeaking各6.0以上、Reading及びListening各5.5以上) であること (但し学部・学科によってはこれ以上のスコアを要求される。詳細は参考URLへ。)
②GPA3.0以上
③オーストラリア国籍を有していないこと

履修の注意 交換留学生の履修が制限されている学科があるため、参考URLで確認すること。

募集人数 1～2名

参考URL <http://www.international.adelaide.edu.au/study/abroad/#entry>

オーストラリア

UNIVERSITY OF WESTERN SYDNEY

西シドニー大学



大学概要

西シドニー大学は1989年創立、6つのキャンパスを擁する大規模な総合大学。
オーストラリア国内では8番目の規模を誇り、在籍する留学生も多い。

所在地 Locked Bag 1797, Penrith South DC, NSW 1797

URL <http://www.uws.edu.au/>

留学期間 2月から最大1学年間

対象 学部生、大学院生

言語 英語

学年暦 2学期制…1学期：2月下旬～6月上旬
2学期：7月下旬～11月下旬

協定校
留学出願
条件

①TOEFL-iBT89以上 (Writing21点以上、他の各セクションが18点以上)、またはIELTS6.5以上 (全セクションにおいて6.0点以上であること) また、学部・学科によってはより高いスコアを求められる場合もあるため、大学ホームページで確認をすること。
②オーストラリア国籍を有していないこと

履修の注意 Medicine, Occupational Therapy, Allied Healthは交換留学生履修不可。

募集人数 1～2名



オーストラリア

UNIVERSITY OF THE SUNSHINE COAST

サンシャインコースト大学



大学概要

1997年に新設されたオーストラリアで最も新しい国立大学。
学生数は約7000人。人文・社会学部においてJapanese and International Businessコースが設置されている。

所在地 Locked Bag 4 Maroochydore DC, QLD 4558, Australia

URL <http://www.usc.edu.au/Home.htm>

留学期間 2月から最大1学年間

対象 学部生のみ

言語 英語

学年暦 2学期制…1学期：2月中旬～6月下旬
2学期：7月中旬～11月下旬

協定校
留学出願
条件

TOEFL-iBT79 (Writing19点以上) 以上、またはIELTS6.0 (各セクションにおいて5.5以上) 以上であること

履修の注意 授業毎に履修条件が設けられているので、参考URLで確認すること。

募集人数 1～2名

参考URL <http://www.usc.edu.au/>



オーストラリア

UNIVERSITY OF
NEW SOUTH WALES

ニューサウスウェールズ大学

大学
概要

1949年設置の、人文・社会・理工学系全般にわたる教育・研究組織を備えている総合大学。
2008年現在9千人以上の留学生を有する。

所在地 Sydney NSW 2052 Australia

URL <http://www.unsw.edu.au/>

留学期間 3月から最大1学年間

対象 学部生・大学院生

言語 英語

学年暦 2学期制…1学期：3月～6月
2学期：7月～11月

協定校
留学出願
条件

TOEFL-iBT90以上 (Writing24点以上) 又はIELTS6.0以上 (但し各
セクションが6.0以上) であること

履修の注意

AGSM MBA, Medicine, ADFA, Summer/Winter Session, Law, Studio Courses, Any
GLST or INST course, Any MDCM courses, Any EDST course, All Dance courses,
ASIA 1002, Online courses via WebCT, GBAT 9102 and GBAT 9106, MARK4999
Industrial Training3, MARK3999 Industrial Training2, MARK2999 Industrial Train-
ing1, FINS3200 Industrial Training3, FINS3100 Industrial Training2

募集人数 1～2名

参考URL <http://www.international.unsw.edu.au/exchange/exchangecome.html>

イギリス

UNIVERSITY OF SHEFFIELD

シェフィールド大学

大学
概要

イギリス北部のシェフィールド市に位置する国立大学。1897年創立のユニバーシティ・カレッジを前身とし、1905年に
総合大学として独立。特に理系分野での教育・研究評価は高い。

所在地 Western Bank, Sheffield S10 2TN

URL <http://www.shef.ac.uk/>

留学期間 9月から最大1学年間

対象 学部生のみ

言語 英語

学年暦 2学期制…秋学期：9月下旬～2月上旬
春学期：2月上旬～6月中旬

協定校
留学出願
条件

①TOEFL-iBT80またはIELTS6.0以上 (但し、学科によってはこれ以
上のスコアを要求される。詳細は参考URLへ。)
②GPA3.0以上

募集人数 1～2名

参考URL <http://www.shef.ac.uk/studyabroad/overseas/prospective/entry.html>

イギリス

THE UNIVERSITY OF MANCHESTER
(FACULTY OF HUMANITIES)

マンチェスター大学

大学
概要

イギリスでも伝統ある国立大学で、現在の大学は1824年創立のマンチェスター工科大学および1851年創立のマンチェ
スター・ビクトリア大学が2004年に統合されたもの。現在までに23名の教員および卒業生がノーベル賞を受賞している。

所在地 Oxford Road, Manchester, M13 9PL, UK

URL <http://www.manchester.ac.uk/>

留学期間 9月から最大1学年間

対象 学部生のみ

言語 英語

学年暦 2学期制…1学期：9月～1月
2学期：2月～6月

協定校
留学出願
条件

次の①または②いずれかの条件を満たしていること。
①TOEFL-iBT90以上 (ただしWriting22以上であること) または
IELTS6.5以上 (ただしWriting5.5以上であること)
②TOEFL-iBT80以上 (ただしWriting20以上であること) またはIELTS6.0以上 (ただし
Writingが5.0以上であること) ※通常授業と平行して、語学授業 (英語) 履修が義務付けられます。
※Business/Management/Life Sciences希望者は①のスコアを要していること。
※Law/Education/English LiteratureはTOEFL-iBT100またはIELTS7.0以上が必要。
【その他の条件】上記語学能力条件を満たした者で、次の全ての条件を満たしていること。
③GPA3.0以上
④交換留学生の受入はFaculty of Humanitiesのみ

募集人数 1～2名



協定校留学出願条件は2009年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合があります。



スウェーデン

LINKÖPING UNIVERSITY

リンシェーピング大学



大学概要

スウェーデンのストックホルムとコペンハーゲン間の自然豊かなリンシェーピング市に位置する総合大学。創立は1969年。

所在地 Linköping University, 581 83 Linköping

URL <http://www.liu.se/en/>

留学期間 9月から最大1学年間

対象 学部生、大学院生

言語 英語

学年暦 2学期制…秋学期：8月下旬～12月下旬
春学期：1月上旬～6月上旬

**協定校
留学出願
条件**

学部・大学院生：原則としてTOEFL-iBT75以上

募集人数 1～2名

参考URL <http://www.liu.se/en/education/exchange/exchange>



フランス

UNIVERSITÉ TOULOUSE 1 SCIENCES SOCIALES

トゥールーズ第一社会科学大学



大学概要

1229年創立のトゥールーズ大学が3つに分かれ、1969年にトゥールーズ第一社会科学大学となる。フランス国内で4番目の規模を誇るトゥールーズ市内に位置する。

所在地 2 rue Doyen-Gabriel-Marty, 31042 Toulouse CEDEX9, France

URL <http://www.univ-tlse1.fr/>

留学期間 9月から最大1学年間

対象 学部生、大学院生

言語 フランス語

学年暦 2学期制…1学期：9月上旬～12月下旬
2学期：1月上旬～6月下旬

**協定校
留学出願
条件**

フランス語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有していること。

募集人数 1名

7
協定校紹介

フランス

INSTITUT NATIONAL DES LANGUES ET CIVILISATIONS ORIENTALES

国立東洋言語文化研究院



大学概要

アジア、アフリカ、東ヨーロッパ、オセアニア、ロシア、アメリカなどの地域にまで拡大し、総じて89カ国にのぼる国の言語および文化、その地域ないし諸国の地理、歴史、諸制度、政治、経済、社会生活等を加えて総合的に研究教育する機関。

所在地 2 rue de Lille, 75343 Paris cedex 07, France

URL <http://www.inalco.fr/>

留学期間 9月から最大1学年間

対象 学部生、大学院生

言語 フランス語

学年暦 2学期制…1学期：9月上旬～12月下旬
2学期：1月上旬～6月下旬

**協定校
留学出願
条件**

フランス語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有していること。

募集人数 1～2名



協定校留学出願条件は2009年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合があります。



フランス

UNIVERSITÉ JEAN MOULIN - LYON 3

リヨン第三大学



大学概要

フランス南東部のリヨン市に位置する総合大学。1973年にリヨン大学の組織再編により、独立した大学となる。文学・哲学・法学・言語学などの分野における教育は評価が高い。



所在地

15, Quai Claude Bernard, 69007 Lyon, France

URL

<http://www.univ-lyon3.fr/>

留学期間

9月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

フランス語

学年暦

2学期制…1学期：9月上旬～12月下旬
2学期：1月上旬～5月中旬

協定校
留学出願
条件

フランス語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有していること。

募集人数 1～2名



フランス

UNIVERSITÉ DE VERSAILLES
SAINT-QUENTIN-EN-YVELINES(UVSQ)

ヴェルサイユ大学



大学概要

1991年にパリ郊外の地域や自治体の援助によって設立された大学。学生数は約15,000人でうち2,200人の留学生在籍する。



所在地

23 rue du Refuge, 78035 Versailles, France

URL

<http://www.uvsq.fr/>

留学期間

9月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

フランス語

学年暦

2学期制…1学期：9月上旬～1月上旬
2学期：1月中旬～6月下旬

協定校
留学出願
条件

フランス語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有していること。

募集人数 1～2名



フランス

UNIVERSITÉ SORBONNE
NOUVELLE PARIS 3

パリ第三大学ソルボンヌ・ヌーヴェル



大学概要

12世紀に創設された旧パリ大学が1970年にパリ第一から第十三までの大学に再編された。パリ第三大学は教員約500名学生約2万名、19の教育研究機関を擁し、フランス語、フランス文学・文明の他、様々な外国語、外国文学・文明、またその歴史の研究が盛んな人文学系の大学。



所在地

13 rue Santeuil, 75231 Paris, CEDEX 05, France

URL

<http://www.univ-paris3.fr/>

留学期間

9月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

フランス語

学年暦

2学期制…1学期：9月中旬～12月下旬
2学期：1月中旬～5月下旬

協定校
留学出願
条件

フランス語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有していること。

募集人数 1～2名



フランス

UNIVERSITÉ DE PROVENCE AIX-MARSEILLE I

プロヴァンス大学エクス・マルセイユ I



大学概要

1409年にプロヴァンス伯によって創立された国立大学で1968年の大学科医学で、マルセイユ大学と統合され、エクス・マルセイユ大学となり、第I、II、IIIと3つの大学に分けられ、このプロヴァンス・エクス・マルセイユI校は、フランスでも有数の学生街エクス・アン・プロヴァンスに位置し、文学部と法学部がある。

所在地 3, Place Victor-Hugo, F-13331 Marseille CEDEX 3, France

**協定校
留学出願
条件**

上級レベルのフランス語授業を修了或は受講中であること。またはTCF4級以上、DELF B1以上を有していること。

URL <http://www.univ-provence.fr>

募集人数 1~2名

留学期間 9月から最大1学年間

対象 学部生、大学院生

言語 フランス語

学年暦 2学期制...1学期: 9月上旬~1月初旬
2学期: 2月上旬~6月下旬



ドイツ

FRIEDRICH-SCHILLER-UNIVERSITÄT JENA

フリードリヒ・シラー・イエナ大学



大学概要

1558年に創立された総合大学。外国人留学生を数多く受け入れており、ドイツ語教育の評判も高い。

所在地 Fürstengraben 1, D-07743 Jena, Germany

**協定校
留学出願
条件**

ドイツ語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有すること。

URL <http://www.uni-jena.de/>

募集人数 1~2名

留学期間 4月または10月から最大1学年間

対象 学部生、大学院生

言語 ドイツ語

学年暦 2学期制...1学期: 4月初旬~9月上旬
2学期: 10月下旬~3月下旬



ドイツ

UNIVERSITÄT SIEGEN

ジーゲン大学



大学概要

1972年創立。国際交流を積極的に推進しており、ヨーロッパの約130大学と交流協定を締結し、約1,700人の留学生 が在籍している。人文・社会系の研究型大学として、ドイツ政府の研究補助金を獲得している有名大学である。

所在地 D-57068, Siegen, Deutschland

**協定校
留学出願
条件**

ドイツ語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有すること。

URL <http://www.uni-siegen.de/uni/universitaet/>

募集人数 1~2名

留学期間 10月から最大1学年間

対象 学部生、大学院生

言語 ドイツ語

学年暦 2学期制...1学期: 10月初旬~2月下旬
2学期: 4月初旬~7月中旬



協定校留学出願条件は2009年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合があります。



UNIwersytet Łódzki

ウッジ大学



大学概要

1921年創立の師範学校、1924年創立の社会・経済学高等専門学校および1928年創立の自由ポーランド大学が合併し、1945年5月24日に設立された総合大学。

所在地	ul. Narutowicza 65, PL-90-131 Łódź, Poland	協定校留学出願条件	交換留学生の受入はFaculty of Philosophy and Historyのみ。授業はポーランド語で行われるため、講義を理解する十分なポーランド語能力を有すること。英語による講義を受講する場合には、TOEFL-IBT80以上が必要。
URL	http://www.uni.lodz.pl/	履修の注意	Faculty of Philosophy and Historyのみ交換留学生受入可能。
留学期間	9月から最大1学年間	募集人数	1～2名
対象	学部生、大学院生	参考URL	http://www.iso.uni.lodz.pl
言語	ポーランド語（英語で行われる授業もある）		
学年暦	2学期制…1学期：9月上旬～1月下旬 2学期：2月上旬～6月下旬		



UNIVERSITÄT WIEN

ウィーン大学



大学概要

1365年創立のドイツ語圏で最古の大学。ノーベル賞受賞者も多数輩出しており、教育・研究ともに質が高い。外国人のためのドイツ語講座も充実している。

所在地	Dr. Lar-Lueger-Ring 1, 1010 Wien, Austria	協定校留学出願条件	ドイツ語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有すること。
URL	http://www.univie.ac.at/	募集人数	1～2名
留学期間	10月から最大1学年間		
対象	学部生、大学院生		
言語	ドイツ語		
学年暦	2学期制…1学期：10月初め～1月下旬 2学期：3月初め～6月下旬		



EÖTVÖS LORÁND UNIVERSITY

エトヴェシュ・ロラード大学



大学概要

370年以上の歴史をもつエトヴェシュ・ロラード (ELTE) は、ハンガリーでも最も古く、大きな大学である。8つの学部3万2千人の学生が学び、1800人の教授陣と研究者が教鞭をとっている。4人のノーベル賞受賞者を輩出しており、教育の水準の高さを誇っている大学である。

所在地	1053 Budapest, Egyetem tér 1-3, Hungary	協定校留学出願条件	原則としてTOEFL-IBT75以上
URL	http://www.elte.hu/	履修の注意	英語で行われている授業については参考URLへ。
留学期間	9月から最大1学年間	参考URL	http://is.itk.hu/mbs/index.php?option=com_content&task=view&id=27&Itemid=43
対象	学部生、大学院生		
言語	ハンガリー語（英語で行われる授業もある）		
学年暦	2学期制…1学期：9月初旬～1月下旬 2学期：2月上旬～7月上旬		






スイス

UNIVERSITÄT ZÜRICH

チューリッヒ大学



大学概要

1833年創立のスイス国内最大の州立大学。1901年から現在まで12名のノーベル賞受賞者を輩出しており、中にはレントゲンやアインシュタインが含まれている。留学生も多く、100カ国から約3,000人を受け入れている。

所在地

Rämistrasse 71, CH - 8006
Zurich, Switzerland

URL

<http://www.unizh.ch/>

留学期間

9月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

ドイツ語

学年暦

2学期制…1学期：9月中旬～12月下旬
2学期：2月中旬～5月下旬

協定校
留学出願
条件

ドイツ語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有すること。

募集人数

1～2名



イタリア

UNIVERSITÀ DI SIENA

シエナ大学



大学概要

1240年創立の歴史ある大学で、校舎も歴史的に貴重な建築物となっている。シエナ市内に主要学部を持ち、理系学部をアレツトオ市に置く総合大学で、学部・大学院ともに優れた研究教育がなされている。

所在地

Via San. Vigilio n. 6-53100, SIENA, Italy

URL

<http://www.unisi.it/>

留学期間

10月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

イタリア語

学年暦

2学期制…1学期：10月初旬～2月下旬
2学期：3月初旬～7月下旬

協定校
留学出願
条件

詳細未定

募集人数

1～2名



イタリア

UNIVERSITÀ CA' FOSCARI VENEZIA

ヴェネツィア大学



大学概要

ヴェネツィア大学は、東西交流の架け橋となったイタリアのヴェネツィアという都市に立地しているため、国際交流に力を入れている。大学の外国語学部にはアジア学科も設置されており、そこでは日本研究も行われている。

所在地

Dorsoduro 1453 Venezia, Italy

URL

<http://www.unive.it/>

留学期間

9月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

イタリア語

学年暦

2学期制…1学期：9月中旬～2月中旬
2学期：2月中旬～7月下旬

協定校
留学出願
条件

イタリア語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有していること。

履修の注意

イタリア語のレベルにより履修できる授業が異なる。

募集人数

1～2名

参考URL

http://www.unive.it/nqcontent.cfm?a_id=10395





イタリア

UNIVERSITÀ DEGLI STUDI DI MILANO

ミラノ大学



大学概要

ミラノ大学の正式な創立年は1923年だが、それ以前からすでに大学としての歴史を持っており、ヨーロッパの中でも古い歴史を誇る大学の一つである。イタリア第二の都市に立地しており、イタリアの最先端の芸術やファッションも学ぶことができる。多くのファッションデザイナーもミラノ大学の出身である。

所在地 Via Festa del Perdono 7 - 20122 MILANO, Italy

URL <http://www.unimi.it/>

留学期間 9月あるいは10月から最大1学年間

対象 学部生、大学院生

言語 イタリア語

2学期制…1学期：10月初旬～1月下旬
2学期：2月下旬～6月下旬
※学部・学科によって学年暦が異なるのでミラノ大学ウェブサイトで確認すること。

協定校
留学出願
条件

原則としてPLIDAイタリア語検定B2以上

募集人数 1～2名



ブルガリア

SOFIA UNIVERSITY
ST. KLIMENT OHRIDSKI

ソフィア大学



大学概要

オスマン＝トルコ帝国支配からブルガリアが開放された10年後の1888年に創設されたブルガリア最古の高等教育機関、最大の国立総合大学である。15学部、7キャンパスから成る。

所在地 1504 Sofia, 15 Tsar Osvoboditel Blvd., Bulgaria

URL <http://www.uni-sofia.bg/>

留学期間 10月から最大1学年間

対象 学部生、大学院生

言語 ブルガリア語

2学期制…1学期：10月～1月
2学期：2月～6月

協定校
留学出願
条件

詳細未定

募集人数 1～2名



ルーマニア

UNIVERSITY OF BUCHAREST

ブカレスト大学



大学概要

ブカレスト大学は、ルーマニアにおいて最も長い歴史と伝統を持つ総合大学であり、学術研究に優れ、充実した研究・教育環境が実現されている。ルーマニアで唯一、主専攻としての日本語学科と、日本研究の修士課程を設置している。日本・日本語研究に関する蔵書を国内で最も多く所蔵する図書館もあり、ルーマニアにおける日本・日本語研究の中核となっている。

所在地 36-46, M. Kogălniceanu Bd, Sector 5, 70709, Bucharest, Romania

URL <http://www.unibuc.ro/ro/home>

留学期間 10月から最大1学年間

対象 学部生、大学院生（博士前期課程）

言語 ルーマニア語

2学期制…1学期：10月～2月
2学期：3月～7月

協定校
留学出願
条件

①English DepartmentのMaster's courseのみ英語で開講される授業がある。その他の授業はルーマニア語で開講されるため、講義を理解するのに十分なルーマニア語能力を有すること。
②志願者は日本国籍を有すること。
③英語による授業を履修する場合は、原則としてTOEFL-IBT75点以上であること。

募集人数 1～2名



協定校留学出願条件は2009年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合があります。



セルビア共和国

UNIVERSITY OF BELGRADE

ベオグラード大学



大学概要

セルビア共和国最大の総合大学であり、古い歴史と高い研究水準を誇っている。また、日本語教育に早くから力を入れている(ベオグラード大学における日本語講座開設は1976年)ことでも知られている。

所在地 Studentski Trg 1, 11000 Belgrade

URL http://www.bg.ac.yu/en_index.php

留学期間 10月から最大1学年間

対象 学部生、大学院生

言語 セルビア語

学年暦 2学期制…1学期: 10月～2月
2学期: 2月～9月協定校
留学出願
条件

- ①交換留学生の受入は、文学部、哲学部、政治学部のみ。
- ②授業は全てセルビア語で行われるため、講義を理解するのに十分なセルビア語能力を有すること。
- ③セルビア国籍を有していないこと。

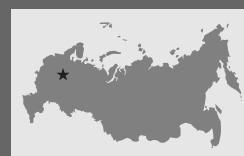
募集人数 1～2名



ロシア

PLEKHANOV RUSSIAN
ACADEMY OF ECONOMICS

プレハーノフ経済大学



大学概要

1907年以来的の伝統を持つ経済系大学であり、現在でもロシア経済系大学の5指のひとつに数えられている。

所在地 36 Stremyanny per., Moscow, 115998, Russia

URL <http://www.rea.ru/>

留学期間 9月から最大1学年間

対象 学部生、大学院生

言語 ロシア語

学年暦 2学期制…1学期: 9月初め～1月下旬
2学期: 2月初め～6月下旬協定校
留学出願
条件

- ①ロシア語: 日常生活に支障のない語学力
- ②英語: 経営学に関わる講義を英語で聴講し、英語による作文や発表する能力を有すること。
- ③交換留学生の受入れは同大学のInternational Business School (IBS-Plekhanov)のみ(授業は全て英語)

履修の注意 交換留学生の受入れは同大学のInternational Business School (IBS-Plekhanov)のみです。英語による講義のみを履修可能。

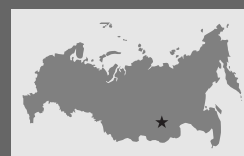
募集人数 1～2名



ロシア

KRASNOYARSK STATE
PEDAGOGICAL UNIVERSITY

クラスノヤルスク教育大学



大学概要

ロシア連邦中部クラスノヤルスク市に所在する教育大学である。教育学部のほか、地理学、史学の分野でも定評がある。

所在地 82, Lebedeva St., Krasnoyarsk, Russia, 660049

URL <http://www.kspu.ru/>

留学期間 9月から最大1学年間

対象 学部生、大学院生

言語 ロシア語

学年暦 2学期制…9月初め～5月下旬

協定校
留学出願
条件

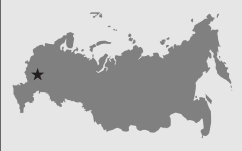
TRKIレベル3以上を有していること

募集人数 1～2名



STATE UNIVERSITY OF MANAGEMENT

国立経営大学



大学概要

1919年以来、ソ連国有企業管理者の養成を中心的に担ってきた大学であり、現在でも経営学教育機関としてはロシアでトップの地位にある。ロシアの多くの有力企業との提携関係に基づいて、実務的な研究、学生教育、社会人教育を展開している。

所在地 Russia, Moscow 109542, Ryazansky Prspect, 99 URL http://guu.ru/index.php 留学期間 9月から最大1学年間 対象 学部生、大学院生 言語 ロシア語 学年暦 2学期制…1学期：9月～1月 2学期：2月～6月	協定校留学出願条件 ①ロシア語：日常生活に支障のない語学力 ②英語：経営学に関わる講義を英語で聴講し、英語による作文や発表する能力を有すること。 ③交換留学生の受入れは同大学の“Cross-cultural models and technologies of management”のみ（授業は全て英語）	履修の注意 交換留学生の受入れは同大学での“Cross-cultural models and technologies of management”のコースとして英語開講されるもののみです。英語による講義のみを履修可能。
募集人数 1～2名		



UNIVERSITY OF FORT HARE

フォートヘア大学



大学概要

1916年創立。近隣諸国の大統領をはじめ、著名な卒業生を多数輩出している。非人種差別主義（non-racism）を長年の伝統としている国際的な大学。

所在地 Private Bag X1314, Alice 5700, South Africa URL http://www.ufh.ac.za/ 留学期間 2月から最大1学年間 対象 学部生、大学院生 言語 英語 学年暦 2学期制…1学期：2月上旬～3月下旬および 4月上旬～6月中旬 2学期：6月中旬～9月下旬および 10月上旬～11月下旬	協定校留学出願条件 詳細未定	募集人数 詳細未定
--	------------------------------	-------------------------



UNIVERSITY OF LIMPOPO

リンポポ大学



大学概要

前身であるUniversity of the Northが、1959年にUniversity College of Northとして設立され、1969年に大学へ昇格した。学生数約4,000人。

所在地 Turfloop, Sovenga, POLOKWANE 0727, South Africa URL http://www.ul.ac.za 留学期間 2月から最大1学年間 対象 学部生、大学院生 言語 英語 学年暦 2学期制…1学期：2月初旬～6月下旬 2学期：7月中旬～12月中旬	協定校留学出願条件 詳細未定	募集人数 詳細未定
---	------------------------------	-------------------------



シンガポール

SINGAPORE MANAGEMENT UNIVERSITY

シンガポール経営大学



大学概要

2000年にシンガポール政府出資のもと設立されたシンガポール第3番目の大学。
在籍学生は約5,600人。うち800人を留学生が占める。

所在地

Administration Building, 81 Victoria Street, Singapore 188065

URL

<http://www.smu.edu.sg/>

留学期間

8月から最大1学年間

対象

学部生のみ

言語

英語

学年暦

3学期制…1学期：8月中旬～11月下旬
2学期：1月上旬～4月中旬
3学期：4月中旬～7月中旬

協定校
留学出願
条件

TOEFL-iBT80以上

履修の注意

Business Study Missionは交換留学生履修不可。

募集人数

1～2名

参考URL

http://www.smu.edu.sg/international_exchange/for_incoming_students/



マレーシア

UNIVERSITI TEKNOLOGI MALAYSIA

マレーシア工科大学



大学概要

クアラルンプールとジョホールにキャンパスを有し、約30,000人の学生が学んでいる。
特に自然科学系分野が優れた総合国立大学。

所在地

81310 UTM Skudai, Johor Darul Takzim, Malaysia

URL

<http://www.utm.my/>

留学期間

7月から最大1学年間

対象

大学院生のみ

言語

英語、マレー語

学年暦

2学期制…1学期：7月上旬～11月下旬
2学期：12月下旬～6月下旬

協定校
留学出願
条件

原則としてTOEFL-iBT75以上

履修の注意

授業毎に定められている履修条件を満たしていること。

募集人数

1～2名



マレーシア

UNIVERSITI SAINS MALAYSIA

マレーシア科学大学



大学概要

1962年に、マレーシアで2番目の大学として創立され、現在約35,000人の学生が在籍している。
科学系の分野での教育・研究に熱心に取り組んでいる。

所在地

11800 USM, Pulau Pinang, Malaysia

URL

<http://www.usm.my/en/>

留学期間

7月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

英語、マレー語

学年暦

2学期制…1学期：7月初旬～11月下旬
2学期：12月中旬～4月下旬

協定校
留学出願
条件

学部・大学院生：TOEFL-iBT61以上又はIELTS5.0以上

履修の注意

Pharmacy, Medicine, Dentistryは交換留学生履修不可。

募集人数

1～2名



マレーシア

UNIVERSITY OF MALAYA

マラヤ大学



大学概要

マレーシア初の大学であり、かつマレーシア最大の総合国立大学。
12学部を有し、約25,000人の学生が在籍する。

所在地 Universiti Malaysia, 50603 Kuala Lumpur, Malaysia

URL <http://www.um.edu.my/>

留学期間 7月から最大1学年間

対象 学部生、大学院生

言語 英語、マレー語

学年暦 2学期制…1学期：7月初旬～11月下旬
2学期：12月上旬～5月下旬

協定校
留学出願
条件

①TOEFL-iBT80またはIELTS6.0以上
②GPA3.0以上

履修の注意

人文系のほとんどの授業はマレー語で行われるため、マレー語の能力が要求される。科学系の学科は、英語での講義も多い。Medicine, Dentistry, Pharmacy, Nursing, Lawは交換留学生履修不可。また、交換留学生は語学授業の履修(有料)を義務付けられている。

募集人数 1～2名



マレーシア

UNIVERSITI MALAYSIA SARAWAK

マレーシア・サラワク大学



大学概要

1992年創立の国内第8番目の大学。生物工学、環境管理学分野が有名だが、芸術学部なども有する総合大学。
学生数約8,000人。

所在地 Universiti Malaysia Sarawak, 94300 Kota Samarahan, Sarawak, Malaysia

URL <http://www.unimas.my/>

留学期間 7月から最大1学年間

対象 学部生、大学院生

言語 英語、マレー語

学年暦 2学期制…1学期：7月上旬～11月下旬
2学期：12月下旬～5月中旬

協定校
留学出願
条件

原則としてTOEFL-iBT75以上

履修の注意

Medicine, Engineeringは交換留学生履修不可。

募集人数 1～2名



インド

INDIAN INSTITUTE OF SCIENCE

インド科学院大学



大学概要

1909年に設立されたインド最古かつ高い研究レベルを誇る大学院大学。キャンパスは緑にあふれ、研究施設以外に、体育館、食堂、学生寮、ショッピングセンターが設置されている。

所在地 Bangalore 560 012, INDIA

URL <http://www.iisc.ernet.in/>

留学期間 8月から最大1学年間

対象 大学院生(理工学研究科・農学研究科のみ)

言語 英語

学年暦 2学期制…1学期：8月～12月
2学期：1月～4月

協定校
留学出願
条件

原則としてTOEFL-iBT75以上

募集人数 1～2名



タイ

KING MONGKUT'S INSTITUTE OF TECHNOLOGY LADKRABANG

キングモンクット工科大学ラカバン校



大学概要

理工科学を強みとするタイ屈指の理系国立大学。前身は1960年創立のノンタブリ電気通信訓練センター、1971年に現在の大学へと組織変更した。

所在地

Chalongkrung Rd., Ladkrabang, Bangkok
10520, Thailand

URL

https://www.itrector.kmitl.ac.th/kmitl_eng/

留学期間

6月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

英語、タイ語

学年暦

2学期制…1学期：6月上旬～10月中旬
2学期：11月初旬～3月中旬

協定校 留学出願 条件

TOEFL-iBT81以上またはIELTS6.0以上

履修の注意

Software Engineering (Bachelor Course), Logistic Management (Master Course), Resource Management (Master Course)のみ英語の授業も開設している。その他は全てタイ語で授業を行う。

募集人数

1～2名



ベトナム

HANOI UNIVERSITY

ハノイ大学



大学概要

1959年にハノイ外国語大学として設立された、ベトナムでは有数の外国語大学。11言語を学部教育で展開し、経営学部、国際関係学部では、英語による講義が行われている。

所在地

Km9, Nguyen Trai Road, Thanh Xuan,
Hanoi, Vietnam

URL

<http://www.hanu.vn/>

留学期間

8月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

ベトナム語、英語

学年暦

2学期制…1学期：9月～1月
2学期：1月～6月

協定校 留学出願 条件

詳細未定

募集人数

1～2名



インドネシア

INSTITUT TEKNOLOGI BANDUNG

バンドン工科大学



大学概要

1920年に創立されたインドネシア初の技術系高等教育機関であり、今日ではインドネシアにおける最も優れた理工系大学と評価されている。卒業生は政府、産業界、教育界などで活躍しており、インドネシアの工学系人材供給の大きな要となっている。

所在地

Jl. Tamansari No.64, Bandung 40116,
Indonesia

URL

<http://www.itb.ac.id/>

留学期間

8月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

インドネシア語

学年暦

2学期制…1学期：8月～12月
2学期：1月～5月

協定校 留学出願 条件

詳細未定

募集人数

1～2名



協定校留学出願条件は2009年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合があります。



中国

RENMIN UNIVERSITY OF CHINA

中国人民大学



大学概要

1937年に創立された陝北大学を前身とし、1950年に現在の名称となる。
全国重点大学の一つであり、特に法学・経済学の分野では国内でトップレベルである。

所在地

59 Zhongguancun Street, Haidian District, Beijing, 100872 P.R. China

URL

<http://www.ruc.edu.cn/>

留学期間

9月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

中国語

学年暦

2学期制…1学期：9月上旬～1月中旬
2学期：2月中旬～7月下旬

協定校
留学出願
条件

HSK6級以上有していること。

募集人数 1名



中国

SHENZHEN UNIVERSITY

深圳大学



大学概要

1983年に創立された国立大学。深圳経済特区唯一の総合大学であり、先進的な教育施設・設備を誇っている。
香港と隣接していることもあり、香港の各大学や国外の大学との交流を重視している。

所在地

Nanhai Ave 3688, Shenzhen, Guangdong, P.R.China, 518060

URL

www.szu.edu.cn/

留学期間

9月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

中国語

学年暦

2学期制…1学期：9月上旬～2月上旬
2学期：2月下旬～7月下旬

協定校
留学出願
条件

中国語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有すること。

募集人数 1～2名



中国

SHANGHAI JIAO TONG UNIVERSITY

上海交通大学



大学概要

1896年に創立された中国政府直属の国立大学。理工系の分野に強い大学であり、江沢民の出身校としても有名。
ソニーとも提携し、優秀な人材育成に力を入れている。

所在地

1954 Huashan Road, Shanghai, 20030, P.R.China

URL

<http://www.sjtu.edu.cn/>

留学期間

9月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

中国語

学年暦

2学期制…1学期：9月上旬～2月上旬
2学期：2月下旬～7月下旬

協定校
留学出願
条件

中国語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有すること。

募集人数 1～2名



協定校留学出願条件は2009年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合があります。



中国

THE CENTRAL UNIVERSITY OF FINANCE AND ECONOMICS

中央財經大学



大学概要

1949年に創立された国家重点大学の一つである。経済・商学を中心とした総合大学。全国的に著名な学者や専門家を多数輩出していることで有名。

所在地

39 South College Road, Haidian District, Beijing, 100081, P.R. China

URL

<http://www.cufe.edu.cn/>

留学期間

9月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

中国語

学年暦

2学期制…1学期：9月上旬～2月上旬
2学期：2月下旬～7月下旬

協定校 留学出願 条件

HSK6級以上有していることが望ましい。

募集人数

1～2名



中国

XIAMEN UNIVERSITY

廈門大学



大学概要

1921年に外来華僑によって創立された総合大学である。中国南部の台湾海峡沿いに面しており、一年中暖かい気候に恵まれている。特に海洋学・歴史学のレベルが高いことで有名。

所在地

No. 422, South-Siming Road, Xiamen, Fujian 361005 P.R.China

URL

www.xmu.edu.cn/

留学期間

9月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

中国語

学年暦

2学期制…1学期：9月上旬～2月上旬
2学期：2月下旬～7月下旬

協定校 留学出願 条件

HSK6級以上有していること。

募集人数

1～2名



中国

YANBIAN UNIVERSITY

延辺大学



大学概要

吉林省延吉市に位置する1949年創立の総合大学。政府の民族教育方針のもと設立され、民族特色を有し、その研究も盛んである。2万人の在籍生のうち、世界各国から集まった約500名の留学生が学んでいる。

所在地

NO.977 Gongyuan Road, Yanji City, Jilin Prov.China

URL

www.ybu.edu.cn/

留学期間

9月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

中国語

学年暦

2学期制…1学期：9月上旬～2月上旬
2学期：2月下旬～7月下旬

協定校 留学出願 条件

中国語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有すること。

募集人数

1～2名



協定校留学出願条件は2009年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合があります。



中国

EAST CHINA NORMAL UNIVERSITY

華東師範大学



大学概要

上海に位置する1951年設立の総合大学。19ある学部のうち、教育科学学部は中国の大学の中でも最も早く設立された学部である。生徒数は約5万人。うち2700人が留学生。

所在地

3663 Zhongshang Road North, Shanghai 200062, China

URL

<http://www.ecnu.edu.cn/>

留学期間

9月から最大1年間

対象

学部生、大学院生

言語

中国語

学年暦

2学期制…1学期：9月上旬～2月上旬
2学期：2月下旬～7月下旬

協定校 留学出願 条件

中国語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有すること。

募集人数 1～2名



中国

INNER MONGOLIA UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

内蒙古工業大学



大学概要

工学系が中心ではあるが、工学系のみならず、自然科学、教養学、経済学、マネジメントなどの広い分野での教育を行っている。

所在地

No.49 Aimin Street, Hohhot, Inner Mongolia, P.R. China

URL

<http://www.imut.edu.cn/index.htm>

留学期間

9月から最大1年間

対象

学部生、大学院生

言語

中国語

学年暦

2学期制…1学期：9月～2月
2学期：2月～7月

協定校 留学出願 条件

①原則としてGPA3.0以上。
②中国語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有すること。

募集人数 1～2名



中国

DALIAN UNIVERSITY OF FOREIGN LANGUAGES

大連外国語学院



大学概要

大連外国語学院は、1964年に日本語専科学校としてスタートした大学で、現在も日本文化・社会・言語教育の中心的な大学である。日本語学部には学部生3,000人、大学院生150人が学ぶ。

所在地

No.94, Yan'an Road, Zhongshan District, Dalian, Liaoning Province, China

URL

<http://www.dlufli.edu.cn/>

留学期間

9月から最大1年間

対象

学部生のみ

言語

中国語

学年暦

2学期制…1学期：9月～1月
2学期：3月～7月

協定校 留学出願 条件

①原則としてGPA3.0以上。
②中国語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有すること。

募集人数 1～2名





中国

LIAONING UNIVERSITY

遼寧大学



大学概要

中国遼寧省半瀋陽市の北部に位置する遼寧省で唯一の総合大学。26000人余の学生が学び、うち570人が留学生。留学生の受入認可を、中国の教育省から最初に受けた大学のうちの高校で1965年より留学生教育を始めており、現在では中国語を専門的に学びたい学生のために外国留学生院を設立している。

所在地

No.66 Chongshan Mid-Road, Huanggu District,
Shenyang, Liaoning Province 110036, China

URL

<http://www.lnu.edu.cn/index.jsp>

留学期間

9月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

中国語

学年暦

2学期制…1学期：9月初旬～2月上旬
2学期：2月下旬～7月下旬

協定校
留学出願
条件

中国語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有すること。

募集人数

1～2名



中国

YUNNAN UNIVERSITY

雲南大学



大学概要

人文・社会科学、自然科学、医学などの分野を含め、多くの学部がある。中国政府や雲南省の重要な研究プロジェクトにも関わりを持ち、地方経済の発展にも大きく貢献している。農業やバイオテクノロジー、製薬に関わる企業も設立している。

所在地

No.2 North Cuihu Road, Kunming
650091, P.R. China

URL

<http://www.ynu.edu.cn/>

留学期間

9月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

中国語

学年暦

2学期制…1学期：9月～1月
2学期：2月～7月

協定校
留学出願
条件

文系志願者はHSK6級以上、理系志願者はHSK4級以上を有していること。

募集人数

1～2名



中国

SOOCHOW UNIVERSITY

蘇州大学



大学概要

1900年に設立された東呉大学（1952年に江蘇師範学校となる）を前身とし、現在の蘇州大学設立は、江蘇師範学校や蘇州医学院等の4大学が合併した1982年である。1995年に選定された、中国教育部直属の国家「211工程」（中国全土から100校を選定）の重点大学のうちの高校。また、毎年1,000人を超える留学生を受け入れているなど国際交流にも積極的である。

所在地

No.1 Shizi Street, Suzhou, 215006
Jiangsu, China

URL

<http://www.suda.edu.cn/>

留学期間

9月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

中国語

学年暦

2学期制…1学期：9月～1月
2学期：2月～7月

協定校
留学出願
条件

①HSK6級以上を有していること。
②日本国籍を有していること。

募集人数

1～2名



台湾

NATIONAL TAIWAN UNIVERSITY

国立台湾大学



大学概要 1928年に台北帝国大学として創立され、1945年に現在の名称となる。国内では最難関の名門大学である。

所在地	No. 1, Sec. 4, Roosevelt Road, Taipei, 10617 Taiwan	協定校留学出願条件	①中国語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有すること。 ②日本国籍を有していること。
URL	http://www.ntu.edu.tw/	募集人数	1～2名
留学期間	9月から最大1学年間	参考URL	http://www.oia.ntu.edu.tw/intstudent/exchange_en.asp
対象	学部生、大学院生		
言語	中国語		
学年暦	2学期制…1学期：9月中旬～1月下旬 2学期：2月下旬～6月下旬		






台湾

NATIONAL FORMOSA UNIVERSITY

国立虎尾科技大学



大学概要 台湾中部雲林県虎尾市に位置する国立の技術大学。1980年に工業専門学校として開校、97年に国立工科大学として認められた。2004年に国立虎尾科技大学と改称し、現在に至る。

所在地	No. 64, Wunhua Road, Huwei Township, Yunlin County 632, Taiwan	協定校留学出願条件	中国語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有すること。
URL	http://www.nfu.edu.tw/	募集人数	1～2名
留学期間	9月から最大1学年間		
対象	学部生、大学院生		
言語	中国語		
学年暦	2学期制…1学期：9月中旬～1月下旬 2学期：2月下旬～6月下旬		





台湾

CHINESE CULTURE UNIVERSITY

中国文化大学



大学概要 1962年に創立され、1980年に総合私立大学となる。台北市内北部にある陽明山に位置しており、台北平野や淡水河を一望できる。台湾の中での多彩な学問分野を提供する数少ない大学である。

所在地	55, Hwa-Kang Road, Yang-Ming-Shan, Taipei, 11114 Taiwan	協定校留学出願条件	中国語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有すること。
URL	http://www.pccu.edu.tw/	募集人数	1～2名
留学期間	9月から最大1学年間		
対象	学部生、大学院生		
言語	中国語		
学年暦	2学期制…1学期：9月中旬～1月下旬 2学期：2月中旬～6月下旬		





台湾

NATIONAL TAIPEI UNIVERSITY

国立台北大学



大学概要

前身は1949年設立の行政専科学校であり、2000年に総合大学に昇格した。多くの卒業生が、政界、財界、商業界などで活躍し、企業からの同大学卒業生採用希望の声も多い。

所在地 67, Sec. 3, Ming-shen E. Rd., Taipei, 104 Taiwan

URL <http://www.ntpu.edu.tw/>

留学期間 9月から最大1学年間

対象 学部生、大学院生

言語 中国語

学年暦 2学期制…1学期：9月中旬～1月下旬
2学期：2月中旬～6月下旬

協定校
留学出願
条件

- ①原則としてGPA3.0以上。
②中国語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有すること。

募集人数 1～2名



台湾

NATIONAL CHIAYI UNIVERSITY

国立嘉義大学



大学概要

国立嘉義技術学院および国立嘉義師範学院を前身とし、2000年に総合大学に昇格した。農学部、生命科学部、人文芸術学部、管理学部などの6学部を有する。

所在地 No.300 Syuefu Rd., Chiayi City 60004, Taiwan

URL http://www.ncyu.edu.tw/index_c.php

留学期間 9月から最大1学年間

対象 学部生、大学院生

言語 中国語

学年暦 2学期制…1学期：9月中旬～1月下旬
2学期：2月中旬～6月下旬

協定校
留学出願
条件

中国語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有すること。

募集人数 1～2名



韓国

KOREA UNIVERSITY

高麗大学



大学概要

1905年創立の普成専門学校を前身とし、1946年に私立の総合大学となる。韓国屈指の名門大学。

所在地 Anam-dong, Sungbuk-gu, Seoul 136-701, Korea

URL <http://www.korea.ac.kr/>

留学期間 3月から最大1学年間

対象 学部生、大学院生

言語 韓国語

学年暦 2学期制…1学期：3月初旬～6月下旬
2学期：8月中旬～12月下旬

協定校
留学出願
条件

- ①韓国語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有すること。
②GPA2.5以上であること。

履修の注意 College of Medicine, Nursingは交換留学生履修不可。

募集人数 1～2名

参考URL <http://studyabroad.korea.ac.kr/incoming/index.jsp>

協定校留学出願条件は2009年度実績に基づいています。これらの条件は予告無く変更になる場合があります。



韓国

EWHA WOMANS UNIVERSITY

梨花女子大学



大学概要 1887年創立のミッション系女子大学である。韓国の名門大学であり、女子大学としては世界最大の規模を誇る。国際色豊かな大学で世界中の協定校からは女子学生のみならず、男子学生も受け入れている。

所在地	11-1 Daehyun-dong, Seodaemun-gu, Seoul 120-750, Korea	協定校留学出願条件	①韓国語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有すること。 ②GPA2.5以上であること。
URL	http://www.ewha.ac.kr/index.html	履修の注意	Medical School Courses, Music, Education Coursesの一部は交換留学生履修不可。
留学期間	3月から最大1学年間	募集人数	1~2名
対象	学部生、大学院生		
言語	韓国語		
学年暦	2学期制...1学期：3月初旬~6月中旬 2学期：9月初旬~12月下旬		






韓国

CHUNGBUK NATIONAL UNIVERSITY

国立忠北大学



大学概要 1951年に農業短期大学として設立され、後に国立の総合大学となる。韓国文部省の大学改革プラン「BK21プロジェクト」の対象校となっており、韓国屈指の大学である。

所在地	12 Gaeshin-dong, Heungduk-gu, Chungbuk 361-763, Korea	協定校留学出願条件	韓国語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有すること。
URL	http://www.chungbuk.ac.kr/index.jsp	募集人数	1~2名
留学期間	3月から最大1学年間		
対象	学部生、大学院生		
言語	韓国語		
学年暦	2学期制...1学期：3月初旬~6月中旬 2学期：8月中旬~12月下旬		





韓国

INHA UNIVERSITY

仁荷大学



大学概要 1952年創立の総合大学。学生交流に力を入れており、短期で開催される韓国語・韓国文化を学ぶ研修は好評を得ている。

所在地	253 Yonghyun-dong, Nam-gu, Incheon 402-751, Korea	協定校留学出願条件	韓国語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有すること。
URL	http://www.inha.ac.kr/	募集人数	3名
留学期間	2月から最大1学年間		
対象	学部生、大学院生		
言語	韓国語		
学年暦	2学期制...1学期：2月下旬~6月中旬 2学期：8月下旬~12月中旬		





韓国

DAEGU UNIVERSITY

大邱大学



大学概要

韓国第3の都市である大邱市に所在する大邱大学は、1946年に韓国社会事業学校として創立された。1957年韓国社会事業大学に昇格した後、1982年に総合大学として認可を受けた、12学部の72学科、学生20,000人、教職員800人を擁する総合大学である。

所在地

DIA, Daegu University, Gyeongsan, Gyeongbuk, South Korea 712-714

URL

<http://www.daegu.ac.kr/kor/index.asp>

留学期間

2月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

韓国語

学年暦

2学期制…1学期：2月下旬～6月中旬
2学期：8月中旬～12月下旬

協定校
留学出願
条件

①韓国語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有すること。
②日本国籍を有している者。

募集人数

1～2名



韓国

SOOKMYUNG WOMEN'S UNIVERSITY

淑明女子大学



大学概要

ソウル市中心に美しいキャンパスを有する韓国の名門女子大学。人文学科日本学専攻で学ぶ学生は一学年50名を超える。

所在地

52 Hyochangwon gil, Yongsan-ku, Seoul 140-742, Korea

URL

<http://www.sookmyung.ac.kr/>

留学期間

3月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

韓国語

学年暦

2学期制…1学期：3月～6月
2学期：9月～12月

協定校
留学出願
条件

韓国語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有すること。

募集人数

1～2名



韓国

GYEONGSANG NATIONAL UNIVERSITY

慶尚大学



大学概要

1948年設立の国立大学。韓国南部の晋州市に位置し、釜山大学校と並ぶ韓国南部の拠点校として、国家プロジェクト研究が盛んな大学の一つ。

所在地

900 Gajwa-dong, Jinju, 660-701, South Korea

URL

<http://www.gsnu.ac.kr/>

留学期間

3月から最大1学年間

対象

学部生、大学院生

言語

韓国語

学年暦

2学期制…1学期：3月初旬～6月中旬
2学期：9月初旬～12月下旬

協定校
留学出願
条件

①韓国語による講義を受けられるだけの十分な語学力を有すること。
②GPA3.0以上であること。
③日本国籍を有している者。

募集人数

1～2名

8

よくある質問とその回答

協定校留学・認定校留学についてよくある質問と回答がまとめられています。疑問に感じるがあれば、まずはこのページを読んでみましょう。

協定校留学・認定校留学に関してよくある質問と解答

Q1 留学したいのですが、何から始めれば良いですか？

A1

まずは留学目的をはっきりさせましょう。本冊子折込ページ「留学へのステップ」にあるチェックリスト等を活用して自分なりの留学計画を立てて下さい。各国大使館ホームページ、留学体験者報告書、留学関連情報誌などを参考に、情報収集を積極的に行っていくうちに、最初は漠然としていた目的もだんだんと明確になってくるはずです。また、大学の正規課程に留学をする場合には、現地の学生と同等に授業に参加できる語学能力が求められます。語学力向上は一朝一夕に実現できるものではないので、留学を思い立った時点から準備を始めましょう。留学形態が決定し、計画も具体化したら、協定校留学希望者は学内選考に向けて準備を、認定校留学、語学留学等その他の留学の場合は、各機関が指定する手続きを踏んで準備をして下さい。

Q2 協定校留学の学内選考はどのようなものですか？

A2

書類選考と面接選考があります。書類選考では、募集期間内に皆さんから提出された協定校留学志望理由書、留学先での学習計画書、成績通知表、語学能力証明書などの出願書類を審査して選考を行います。書類選考通過者には、日本語および留学先言語での面接を行います。面接では、留学志望動機、学習計画などを日本語と外国語の両言語で話すことができるように準備しましょう。学内選考の時期は以下の通りです。変更が生じる可能性がありますので逐次国際交流ホームページをチェックするようにして下さい。

留学先	学内募集時期（2009年度実績）
英語圏（オーストラリア）	5～6月頃
韓国語圏	5～6月頃
英語圏（オーストラリア以外）	10～11月頃
フランス語圏	10～11月頃
ドイツ語圏	10～11月頃
イタリア語圏	10～11月頃
ロシア語圏	10～11月頃
中国語圏	10～11月頃
その他語圏	10～11月頃

Q3 協定校留学の倍率はどのくらいですか？

A3 志願者の希望留学先が重なることが多いため、全体の志願者数が少ない場合でも、大学毎で見ると倍率が高くなることもあります。

〔参考〕2008-2010年度協定校留学志願者数・合格者数

国	協定校	2008		2009		2010	
		志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
アメリカ	オレゴン大学	3	2	2	1	9	1
	ニューヨーク州立大学ニューパルツ校	5	2	3	1	4	2
	アイオワ大学	0	0	4	2	2	1
	サザンイリノイ大学カーボンデール校	0	0	1	1	1	1
	アラバマ大学	0	0	1	1	1	1
	ミズーリ州立大学	0	0	1	1	1	1
カナダ	ヨーク大学	1	1	1	0	1	1
	アルバータ大学	2	2	1	1	3	1
	モントリオール大学	0	0	0	0	2	2
スウェーデン	リンシェーピング大学	4	4	2	2	2	2
オーストラリア	西シドニー大学	1	1	0	0	0	0
フランス	INALCO	1	1	1	1	0	0
	リヨン第三大学	3	3	1	1	1	1
	ヴェルサイユ大学	2	1	1	1	0	0
	パリ第三大学	0	0	1	1	1	1
オーストリア	ウィーン大学	0	0	2	2	3	3
ドイツ	イエナ大学	6	4	6	5	0	0
	ジューゲン大学	0	0	2	2	0	0
韓国	高麗大学	3	2	2	2	1	1
	梨花女子大学	1	1	2	2	0	0
中国	中国人民大学	1	1	0	0	1	1
	上海交通大学	1	0	0	0	0	0
	アモイ大学	1	1	0	0	1	1
	華東師範大学	0	0	1	1	0	0
台湾	国立台湾大学	2	0	1	1	1	1
	中国文化大学	0	0	1	1	0	0
シンガポール	シンガポール経営大学	0	0	1	1	0	0
マレーシア	マレーシア科学大学	0	0	0	0	1	1
ロシア	ブレハーノフ経済大学	0	0	1	1	1	1
	国立経営大学	0	0	1	0	1	1
合計		37	26	40	32	38	25

Q4 成績が良くないと学内選考で不利ですか？

A4 成績も評価対象なので良いに越したことはありませんが、成績の良し悪しだけで合否は決定されません。出願書類、人物評価等に基づき、本学の代表として派遣するに相応しいか評価されます。

但し、協定校の中にはGPA3.0以上など、学力の基準を設けていることがあり、そのような場合には協定校の基準に従います。

Q5 TOEFLはどうすれば受験できますか？

A5 TOEFLはETSというアメリカの団体が行っているテストで、インターネット上で申込をします。まずはETSのホームページにアクセスし、登録を行きましょう（本冊子P.67参照）。

現在日本で行われているのはTOEFL-iBTというテストです。TOEFL-iBTは、指定の会場に出向き、備え付けのパソコンで受験します。試験日は月に数回設けられています。TOEFLの結果は受験後約1ヵ月後に郵送されてくるため、協定校留学志願者は、学内選考応募時期にスコアを提出できるよう、早めに受験して下さい。

また、1回の受験だけで高得点を取得することが困難であるため、留学を思い立った時点で、準備に取り組んで下さい。

Q6 TOEFL高得点者が学内選考で優先されるのですか？

A6 TOEFLだけが学内選考基準とはなりません。A4と同様に、全てを総合評価したうえで、本学の代表として派遣するに相応しい人物かどうかを決定します。

Q7 学内選考に応募する際の語学能力基準はどのくらいですか？

A7 本冊子P.35以降にある各協定校の詳細情報として、前年度実施の学内選考応募基準が記載されているので、参照して下さい。但し、この基準は協定校の都合により予告無く変更になる場合がありますので、必ず当該年度に国際交流ホームページや掲示板等に掲示される募集要項を確認して下さい。

Q8 留学先で取得した単位はどのくらい認定されるのですか？

A8 留学先で取得した単位を、本学で認定する条件は基本的に、本冊子P.17に記載されている通りです。単位認定の状況は、人によって異なります。単位認定を希望する人は、留学出発前に必ず所属学部・研究科とよく相談をして下さい。

Q9 留学先では自分の専門以外の授業も受講できますか？

A9 各大学により異なります。留学生に対して幅広い分野で履修を許可している大学もあれば、交換留学生の受講を制限している場合もあります。また授業毎に細かく履修条件が設定され、協定校留学者といえども特別扱いはなく、それを満たしていない場合には履修を許可されないことがあります。
各大学のホームページ等で、授業のシラバスを閲覧し、各自で授業内容について調べることをお勧めします。

Q10 外国人留学生は、協定校留学に応募できますか？

A10 明治大学では、正規課程に在籍する留学生が、外国へ留学することを認めています。（原則として、母国以外に限られます。）ただし、受入先の大学によっては、受入学生の国籍に制限を設けている場合があるので、詳細は募集時期に掲載される募集要項で確認して下さい。

Q11 留学すると、就職活動に間に合いませんか？ 今までの留学体験者は就職活動をどのようにしていますか？

A11 留学出発時期が8～9月で、一学年間留学してくる場合、帰国は翌年の5～7月となることが一般的です。帰国後すぐに就職活動を行うことを考えている人は、留学出発前に、自分が希望する業界・会社がいつ採用活動を行うかを調べ、業界研究、自己分析等、就職活動の準備をしましょう。さらに、留学中もインターネット等を通じて情報を集めることを怠らないで下さい。また、本学の就職・キャリア支援事務室へ相談に行くのも良いでしょう。

過去の協定校留学者の中には、帰国後に就職活動を行い、希望通りの就職先を見つけた人もいれば、卒業を1学年延ばして、就職活動に臨む人もいます。

【参考】明治大学 就職・キャリア支援事務室 <http://www.meiji.ac.jp/shushoku/>

Q12 留学先ではお金はどれくらい必要になるのですか？

A12 協定校留学の場合、留学先大学の授業料は免除となるため、生活費、宿舍費、交通費、雑費等が必要になります。国によっても異なりますが、大体150万円～200万円は必要と考えて良いでしょう。認定校留学は、本学と留学先両方の学費を納付するため、地域によっては300万円を超える場合があります。(本冊子P.25「留学資金計画」参照)

Q13 留学のための奨学金はありますか？

A13 協定校留学・認定校留学制度を利用する人は、明治大学外国留学経費助成金に申請できます。(本冊子P.18参照)

Q14 認定校留学はどのようにすれば良いですか？

A14 留学の情報は、各国大使館ホームページ、日本学生支援機構留学情報センターなどを活用して集めましょう。協定校の枠にしばられることなく、一定条件のもと自分で大学を選び、出願手続等を行います。この手続は国際教育センターを介さず、各個人で行います。受入先大学から入学許可証が到着したら、所属の学部・研究科で留学の手続をして下さい。

Q15 語学留学はできますか？

A15 協定校留学・認定校留学は、語学を学ぶことを主目的とした制度ではありません。皆さんが本学で学んでいる専門分野を学ぶために留学します。語学を学びたい場合は、国際教育センターが実施する夏期約1ヶ月間の短期語学研修プログラムを活用して下さい。詳細は国際教育センターで配布する語学研修プログラムのパンフレットをご覧ください。

9

本学における語学講座の紹介

ここでは各学部のカリキュラム中の必修外国語科目以外に設置されている語学講座を紹介します。いずれも外国文化理解と会話を中心とした実践的運用能力の養成を目的とします。学内で行われる講座を積極的に活用することをお勧めします。

○学部間共通外国語科目

※下記は2009年度開講科目です。2010年度については各地区教務事務室で配布される学部間共通外国語シラバスを参照してください。

1 開講科目

英会話、ドイツ語会話、フランス語会話、中国語会話、ロシア語・ロシア語会話、スペイン語、朝鮮語、ギリシア語、ラテン語、イタリア語、アラビア語。

(1) 内 容：レベル別。学部間共通外国語シラバスで確認してください。

(2) 対 象：本学学生

(3) その他：募集人員、募集時期、実施時期などについては、各地区教務事務室で配布する学部間共通外国語シラバスを参照してください。

2 国際理解講座

留学を計画している者や、異文化への理解を深めたい者などを対象にした講座で、英語圏、ドイツ語圏、フランス語圏、中国語圏についての国際理解講座が開講されています。

※対象者、開講コース、募集人員、募集時期、実施時期など詳細は、各地区教務事務室で配布する学部間共通外国語シラバスを参照してください。

3 集中講座

〈夏 期〉

(1) 種 類：英会話、ドイツ語会話、フランス語会話、中国語会話

(2) 内 容：外国語コミュニケーション能力の向上を目的として学内にて実施。

(3) その他：募集人員、募集時期、実施時期などについては、5月中旬頃各地区教務事務室掲示板にてお知らせします。

〈春 期〉

(1) 種 類：英会話

(2) 内 容：合宿形式により集中的に講義し、コミュニケーション能力の向上を目的として実施

(3) その他：対象、募集人員、受講料等、募集時期、開講期間など詳細は、10月下旬頃各地区教務事務室掲示板にてお知らせします。

4 海外短期語学研修 ●

国際教育センターでは、ヨーク大学、マクマスター大学、ユーコン・カレッジ（カナダ）、ケンブリッジ大学・シェフィールド大学（イギリス）、ウィーン大学（オーストリア）、アリアンス・フランセーズ・トゥールーズ（フランス）と協力して、夏休みの約1ヶ月間（ユーコン・カレッジは約2週間）、海外語学研修を実施しています。

レベル別にクラスが編成され、1日3～5時間の語学授業を受けます。授業中のディスカッションや発表の機会も多く、コミュニケーション能力の向上を図るとともに、異文化への理解を深め、国際感覚を養うことを目的としています。（※カナダのユーコン・カレッジの研修は、野外キャンプを主としてプログラムが組まれており、他の研修と内容が異なりますので、海外短期語学研修パンフレットで確認して下さい。）

いずれの研修も募集定員が設けられ、参加希望者には選考試験を実施します。各語学研修の詳細は、4月頃に国際教育センターや各学部窓口等で配布される海外短期語学研修のパンフレットや募集要項で確認してください。



10

各種語学能力・適正試験について

【英 語】

TOEFL® (Test of English as a Foreign Language)

概 要

TOEFL (Test of English as a Foreign Language) は、英語を母国語としない人々の英語力を測る、世界各国で実施されている英語テストで、米国の非営利教育団体であるETS (Educational Testing Service) が実施している。TOEFL のスコアを交換留学や長期留学の出願条件としている英語圏の大学は多く、留学を希望する人は、行きたい大学が要求しているスコアを満たす必要がある。TOEFLにはTOEFL-iBT (Internet Based Testing)、TOEFL-PBT (Paper Based Testing)、TOEFL-CBT (Computer Based Testing) の3種類あり、現在日本において定期的に受験できるのはTOEFL-iBTのみ。iBTはSpeaking, Writing, Listening, Readingの4セクションで構成され、スコアは2年間有効。

参考サイト

ETS : <http://www.ets.org/toefl>

国際教育交換協議会 (CIEE) 日本代表部TOEFL事務局 : <http://www.cieej.or.jp/toefl/index.html>

TOEIC® (Test of English for International Communication)

概 要

TOEFL同様、アメリカの公益法人ETS (Educational Testing Service) が実施している英語能力試験だが、その性質はTOEFLと大きく異なる。TOEFLが、受験者が英語圏へ留学する際に、留学先で学業を修める英語力があるかどうかを測るのに対し、TOEICは身近な内容からビジネスまでどれだけ英語でコミュニケーションできるかを測る。テストはListeningとReadingの2構成。

参考サイト

ETS : <http://www.toeic.or.jp/>

IELTS(International English Language Testing System)

概 要

IELTS (International English Language Testing System) は、主にイギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドで英語を母国語としない人々の英語力を審査するために用いられているテストで、英国の公的な国際文化交流機関であるブリティッシュ・カウンシルと(財)日本英語検定協会により共同運営されている。IELTSにはアカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニングモジュールの二種類があり、大学や大学院等高等教育機関での留学を目指す人は、アカデミック・モジュールを受験する必要がある。試験はリスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4つから成り、各試験の合計点をもとに、1～9段階のスコアで評価される。

参考サイト

IELTS : <http://www.ielts.org/> (財)日本英語検定協会 : <http://www.eiken.or.jp/ielts/index.html>

British Couci : <http://www.britishcouncil.org/jp/japan-exams.htm>



【中国語】

HSK (Hanyu Shuiping Kaoshi : 漢語水平考試)

概要

日本の文部科学省にあたる中国教育部が認定した、中国語を母国語としない中国語学習者のための国家レベルの中国語能力標準化試験。取得した得点が1～11級に分けられ、中国の大学への留学は、一般にHSK6級以上を取得していることが求められる。

参考サイト

HSK中国本部 : <http://www.hsk.org.cn/>

HSK日本事務局 : <http://www.jyda-ie.or.jp/hsk/top.htm>

【韓国語】

韓国語能力試験

概要

財団法人韓国教育財団が実施する大韓民国政府認定の韓国語能力試験。試験の結果は初級、中級、高級に分けられる。試験分野は語彙、文法、書き取り（作文問題も含む）、聞き取り、解読の4つに分かれており、各100点満点、合計400点満点。

参考サイト

財団法人韓国教育財団 : <http://www.kref.or.jp/>

ハングル能力検定試験

概要

5～1級に分類される。1級1次試験合格者には後日面接試験が行われる。

参考サイト

ハングル能力検定協会 : <http://www.hangul.or.jp/>

【フランス語】

DELF/DALF

概要

フランス文部省認定フランス語資格試験。DALF C1を取得するとフランスの大学の学部に入學する際に義務づけられているフランス語能力評価試験が免除される。

参考サイト

大阪日仏センター＝アリアンス・フランセーズ : <http://www.delfdalf.jp/>

TCF(Test de Connaissance du Francais)

概 要

フランス文部省認定の試験。得点により6段階のレベルに分けられる。証書は2年間有効。

参考サイト

東京日仏学院：<http://www.institut.jp/ja/apprendre/examens>

【ドイツ語】

ゲーテ・インスティトゥートの検定

概 要

国際的に通用するドイツ語試験。Start Deutsch 1・2、Zertifikat Deutsch などのレベルがある。

参考サイト

ゲーテ・インスティトゥートジャパン：<http://www.goethe.de/ins/jp/tok/lrn/prf/jaindex.htm>

【イタリア語】

CILSイタリア語検定試験

概 要

シエナ外国人大学が実施しているイタリア語検定試験。イタリア文化会館を通じて受験可能。

参考サイト

イタリア文化会館：http://www.iictokyo.esteri.it/IIC_Tokyo/

PLIDAイタリア語検定試験

概 要

イタリア政府公認のイタリア語検定。初級のA1・A2、中級のB1・B2、上級のC1、そして最上級のC2の6のレベルに分かれる。

参考サイト

ダンテ・アリギエール協会東京支部：<http://www.il-centro.net/dante/plida/page2.html>



【ロシア語】

ТРКИ - テ・エル・カ・イ

概要

ロシア連邦教育科学省が認定する国家試験。入門レベル、基礎レベル、第一レベル、第二レベル、第三レベル、第四レベルの6段階に分けられている。

参考サイト

日本対外文化協会：<http://www.taibunkyo.com/kentei/kentei.htm>

【その他適正テスト】

GRE[®] (Graduate Record Examinations)

概要

経営・法学を除く大学院進学希望者を対象としたテスト。一般的な適正を見るGeneral Test（言語・数学・論理）と専門分野の基礎学力を見るSubject Testの2つで構成される。

参考サイト

ETS：<http://www.ets.org/portal/site/ets>

GMAT (Graduate Management Admission Test)

概要

経営大学院（Business School）の入学に際して要求される。AWA（Analytical Writing Assessment）、Quantitative Section、Verbal Sectionの3セクションで構成される。

参考サイト

GMAT公式サイト：<http://www.mba.com/mba>

LSAT (Law School Admission Test)

概要

ロースクール進学希望者を対象としたテスト。読解力、分析力、文章力を測る。

参考サイト

LSAT公式サイト：<http://www.lsac.org/LSAT/TheLSAT-menu.asp>

11

留学情報機関・
在日外国文化機関リスト

国・地域	機 関 名	所在地、ホームページ
留学一般	独立行政法人 日本学生支援機構 留学情報センター	〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1 URL: www.jasso.go.jp/
アメリカ	日米教育委員会教育情報部	〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル207号 URL: www.fulbright.jp
イギリス	ブリティッシュ・カウンシル	〒162-0825 東京都新宿区神楽坂1-2 URL: www.britishcouncil.org/jp/japan.htm
オーストラリア	オーストラリア政府教育情報センター	〒108-8361 東京都港区三田2-1-14 オーストラリア大使館内 URL: www.study.australia.or.jp
カナダ	カナダ大使館図書館	〒107-8503 東京都港区赤坂7-3-38 URL: www.canadanet.or.jp/library/
中国	中華人民共和国駐日本国大使館	〒106-0046 東京都港区元麻布3-4-33 URL: www.china-embassy.or.jp
韓国	大韓民国大使館	〒106-8577 東京都港区南麻布1-2-5 URL: http://jpn-tokyo.mofat.go.kr/index.jsp
台湾	台北駐日経済文化代表処	〒108-0071 東京都港区白金台5-20-2 URL: www.taiwanembassy.org/Jp/mp.asp?mp=202
シンガポール	シンガポール共和国大使館	〒106-0032 東京都港区六本木5-12-3 URL: http://www.mfa.gov.sg/tokyojpn/
マレーシア	マレーシア大使館	〒150-0036 渋谷区南平台町20-16 電話: 03-3476-3840
タイ	在京タイ王国大使館	〒141-0021 東京都品川区上大崎3-14-6 URL: www.thaiembassy.jp/
ベトナム	ベトナム社会主義共和国大使館	〒151-0062 東京都渋谷区元代々木町50-11 電話: 03-3466-3311・3313・3314
インドネシア	インドネシア共和国大使館	〒141-0022 品川区東五反田5丁目2-9 電話: 03-3441-4201
南アフリカ	在日南アフリカ共和国大使館	〒102-0093 東京都千代田区平河町2-1-1 オリケン平河町ビル3・4階 URL: www.rsat.com/
フランス	在日フランス大使館	〒106-8514 東京都港区南麻布4-11-44 URL: www.ambafrance-jp.org/
	東京日仏学院	〒162-8415 東京都新宿区市ヶ谷船河原町15 URL: www.ifjtokyo.or.jp/
	フランス政府留学局日本支局	〒106-8514 東京都港区南麻布4-11-44 在日フランス大使館内 URL: http://japon.campusfrance.org/
スウェーデン	スウェーデン大使館	〒106-0032 東京都港区六本木1-10-3-100 URL: www.swedenabroad.com/Start_4324.aspx
イタリア	イタリア大使館	〒108-8302 東京都港区三田2-5-4 URL: http://www.ambtokyo.esteri.it/ambasciata_tokyo
オーストリア	オーストリア大使館	〒106-0046 東京都港区元麻布1-1-20 URL: www.bmeia.gv.at/tokio
スイス	スイス大使館	〒106-8589 東京都港区南麻布5-9-12 電話: 03-5449-8400



ドイツ	ドイツ大使館	〒106-0047 東京都港区南麻布4-5-10 URL: www.tokyo.diplo.de/Vertretung/tokyo/ja/Startseite.html
	ドイツ学術交流会 (DAAD) 東京事務所	〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-56 ドイツ文化会館内 URL: http://tokyo.daad.de/wp/lang/ja/
ロシア	在日ロシア連邦大使館	〒106-0041 東京都港区麻布台2-1-1 URL: www.russia-emb.jp/
セルビア	セルビア共和国大使館	〒104-0001 東京都品川区北品川4-7-24 URL: http://www.serbianembassy.jp/japan/
ルーマニア	ルーマニア大使館	〒106-0031 東京都港区西麻布3-16-19 URL: http://tokyo.mae.ro/index.php?lang=jp
ブルガリア	ブルガリア共和国大使館	〒151-0053 渋谷区代々木5丁目36-3 電話:03-3465-1021



12

留学に関する学則（抜粋）

明治大学学則（抜粋）

第19条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算する。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究及び卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

（学 部）

第28条の2 外国の大学において授業科目を履修しようとする者は、所定の留学願を提出し、許可を得て留学することができる。

2 前項による留学期間は、1年以内とする。ただし、特に必要と認める場合は、引き続き1年に限り、留学期間の延長を許可することができる。

3 留学期間は、在学年数に算入する。

4 留学によって修得した単位は、当該学部教授会の議を経て、30単位を超えない範囲で本大学において修得した単位として認定することができる。

5 その他留学に関する事項は、別に定める。

（大学院）

（留 学）

第43条の2 外国の大学院、それに準ずる高等教育機関又は研究機関（以下「外国の大学院等」という。）において授業科目を履修し、又は研究指導を受けようとする者は、所定の留学願を提出し、許可を得て留学することができる。

2 前項による留学期間は、1年以内とする。ただし、特に必要と認めた場合は、引き続き1年に限り留学期間の延長を許可することができる。

3 留学期間は、在学年数に算入する。

4 留学によって修得した単位又は教授された研究指導は、研究科委員会又は研究科教授会の議を経て、本大学院の課程修了の要件である単位又は研究指導として認定することができる。

5 前項によって認定できる単位数は、10単位（専門職学位課程においては、課程修了の要件として定める単位数の2分の1に相当する単位）以内とする。

6 その他留学に関する事項は、別に定める。

明治大学学生外国留学に関する規程（抜粋）

（定 義）

第2条 この規程での留学とは、次の各号のいずれかに該当するものをいう。

(1) 明治大学（明治大学院を含む。以下「本学」という。）と外国の高等教育機関又は研究機関（以下「高等教育機関等」という。）との協定に基づき留学するもの。

(2) 前号によらない留学で、学部教授会又は研究科委員会（以下「教授会等」という。）の議を経て学長が特に認めるもの。

2 前項第1号による留学を協定校留学といい、第2号による留学を認定校留学という。

（留学対象機関）

第3条 学生が留学できる外国の高等教育機関等は、次の各号のいずれかに該当するものとする。

(1) 学士号又は学位の授与権を有する高等教育機関等

(2) 教授会等が前号に準ずるものと認定した高等教育機関等

（出願資格）

第4条 学部学生は、本学に1年以上在学し、所属学部教授会の定める留学許可に必要な単位数を修得していなければならない。

2 大学院学生は、指導教員の許可を得なければならない。

（出願手続）

第5条 留学を願い出る者は、次の各号に掲げるものを所属学部長又は研究科委員長（以下「学部長等」という。）に提出しなければならない。

(1) 留学願

(2) 履修（研究）計画書



- (3) 留学予定の高等教育機関等の入学許可書又は受入許可書
- (4) 留学予定の高等教育機関等の便覧、講義要項又はそれに準ずるもの
- (5) 留学に係わる資金計画書
- (6) その他学部長等の指定するもの

2 前項各号に定めるもののほか、学部学生については語学能力証明書、保証人の留学同意書及び成績証明書、大学院学生については、指導教員の推薦書を提出しなければならない。

(履修科目の許可)

第6条 留学を許可された学生は、留学予定の高等教育機関等において履修しようとする授業科目について、事前に教授会等の許可を得るものとする。

(帰国報告)

第7条 留学を終了し、帰国した学生は、次の各号に掲げるものを遅滞なく学部長等に提出しなければならない。

- (1) 帰国報告届
- (2) 単位（研究指導）認定願
- (3) 留学した高等教育機関等の成績証明書又はそれに準ずるもの
- (4) 留学した高等教育機関等の履修科目の時間数及び単位数を証明する書類
- (5) その他学部長等があらかじめ提出を指定した書類

(単位等の認定)

- 第8条 教授会等は、学生が留学によって修得した単位の全部又は一部を、学則第28条の2第4項又は大学院学則第43条の2第4項によって、本学所定の単位として認定することができる。
- 2 修得単位の認定は、前条の提出書類によるほか、面接試問又は筆記試験によって行うことができる。
- 3 修得単位は、原則として学則第19条に基づき、本学所定の単位数に換算することができる。
- 4 研究指導の認定は、留学した高等教育機関等の担当者が発行する研究指導経過報告書によって行う。

(授業科目履修の特例)

- 第9条 学生が学年暦の国際的差異によって本学の通年の授業科目を履修することに支障がある場合、当該授業科目の出国年度の前期における履修と帰国年度の後期における履修を継続し、通年で履修したものとするることができる。
- 2 前項に定める継続履修をしようとする者は、授業科目の継続履修願を事前に学部長等に提出しなければならない。
- 3 第1項の継続履修ができない場合は、教授会等がその措置を決定する。

(助成)

第10条 留学する者には、所要経費の一部を給付することができる。

2 前項の給付に関する事項は、国際教育センター委員会（以下「委員会」という。）の議を経て大学が定める。

(留学許可の取消し)

第11条 留学生としての在留資格を喪失した者又は学則第66条若しくは大学院学則第62条に該当する者については、教授会等の議を経て留学許可を取り消すことがある。

Memo

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.

